

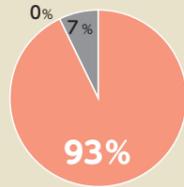
平成30年度から導入

教員対象調査より 中根小学校

中根小学校の教員に聞きました

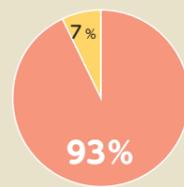
Q 自校独自の特色ある教育課程の編成ができています。

A **あてはまる** どちらかといえばあてはまる
あてはまらない どちらかといえばあてはまらない
 分からない



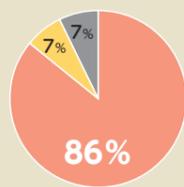
Q 午前5時間制導入前と比べ、放課後は学年会や会議、研修の時間等、有効活用できている。

A **あてはまる** どちらかといえばあてはまる
あてはまらない どちらかといえばあてはまらない
 分からない



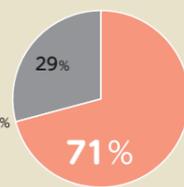
Q 短時間学習の内容は40分間の学習内容と関連付けている。

A **あてはまる** どちらかといえばあてはまる
あてはまらない どちらかといえばあてはまらない
 分からない



Q 午前5時間制は子どもにとってよいと思っている。

A **あてはまる** どちらかといえばあてはまる
あてはまらない どちらかといえばあてはまらない
 分からない



魅力

- 午前5時間制は、児童の実態や教科等の特性、学校の特色等に合わせ、柔軟に教育課程を編成することができる。
- 新学習指導要領の完全実施に向けた授業時数の確保について、週時程を変更することなく対応することができる。
- 児童の実態に合わせ、短時間学習や長時間学習を活用し、学習内容の充実を図ることができる。
- 午前5時間制は放課後の時間を生み出すことができる。全体の約7割以上の教員が生み出した放課後の時間を学年会や研修等の時間に活用できている。
- 生み出した放課後の時間は先生や友達と話したり、遊んだり児童なりに過ごすことができている。

課題

- 2コマ続きの授業を要する専科等の指導を実現させる週時程を工夫する。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、教員の資質・向上を図る。
- 40分間授業と短時間学習、長時間学習との関連を意図的・計画的に図る。



午前5時間制検討委員会

元聖徳大学大学院教職研究科	教授	西村 佐二
原町小学校	校長	伊藤 正泰
中目黒小学校	校長	横溝 宇人
烏森小学校	校長	村尾 勝利
向原小学校	校長	渡部 浩文
月光原小学校	校長	小泉 修治
駒場小学校	校長	北島 陽彦
中根小学校	校長	藤井 良江
目黒区教育委員会事務局教育指導課		



ワーキンググループ

中目黒小学校	教諭	三枝 剛
烏森小学校	主幹教諭	山本 匡史
向原小学校	主任教諭	満留 友樹
月光原小学校	主幹教諭	伊藤 公志
駒場小学校	主幹教諭	塚本 哲
原町小学校	主幹教諭	矢部 泰子
中根小学校	主幹教諭	市川 明日香
目黒区教育委員会事務局教育指導課		

文部科学省

「これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」

午前5時間制で 小学校が変わる!



「目黒区立小学校の午前5時間制」 主要印刷物番号 30教-3号

発行 目黒区教育委員会

編集 目黒区教育委員会事務局教育指導課 (午前5時間制検討委員会)

〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15 電話 03-5722-9313 FAX03-3715-6951

平成30年9月

目黒区教育委員会教育長 尾崎 富雄

はじめに

目黒区教育委員会では、次代を担う子どもたちが、確かな学力を身に付け、心豊かに、健やかに成長することを目指し、学校教育施策に関する中期計画「めぐろ学校教育プラン」を策定しております。

この「めぐろ学校教育プラン」に位置付けて、平成19年には二期制を、また平成20年には夏季休業期間中の5日間の短縮を導入し、以降、目黒区ではゆとりある教育課程の中で創意あふれる学校づくりを進めております。この二期制や夏季休業期間の短縮に先立って導入されたのが午前5時間制であり、導入から17年目を迎えた現在では、7つの小学校（中目黒小学校、駒場小学校、月光原小学校、烏森小学校、向原小学校、原町小学校、中根小学校）に広がっております。

本区の午前5時間制は、一単位時間を40分間とし、午前中に集中して学習することを通して学力の定着を図り、午後の時間に余裕を生み出し、各校の実態に合わせて活用することを特長としています。

一方で、平成29年3月に告示された新学習指導要領では、小学校中学年における外国語活動と高学年における外国語科の導入により授業時数が増加し、それに伴い、授業時数の確保が大きな課題となり、午前5時間制の有意性がこれまで以上に高まってきたところです。

そこで、目黒区教育委員会では、小学校英語の教科化など今日的な課題に対応して、午前5時間制を含めた授業時数の弾力的運用を検証するとともに、平成29・30年度の2年間、文部科学省による調査研究の委託を受け、「時間」という資源を効果的に活用する視点からのカリキュラム・マネジメントにおいて、午前5時間制の有意性を研究しております。すでに、目黒区では小学校全校が本年度から文部科学省から教育課程特例校の認定を受けて、評価を伴う外国語科の指導を開始しております。

本冊子には、授業時数及び授業コマ数の確保、学力の向上・定着、生活習慣の確立、生み出した放課後のゆとり時間の活用といった「目黒区立小学校の午前5時間制」の魅力とその手法をまとめました。

新学習指導要領の完全実施に向け、児童の学びと成長につながる教育課程を編成する上で「目黒区立小学校の午前5時間制」を参考にいただければ幸いです。

目次

目黒区立小学校の午前5時間制版カリキュラム・マネジメント

- 午前5時間制版 カリキュラム・マネジメント 3～4
- 午前5時間制版 授業時数の確保 5～6

目黒区立小学校の午前5時間制の魅力

- 午前5時間制版 年間指導計画の作成(例) 7～8
- 午前5時間制版 年間指導計画 9～14
- 午前5時間制版 単元指導計画 15～16
- 午前5時間制版 40分間授業における主体的・対話的で深い学びの実現 17～22
- 午前5時間制版 週ごとの指導計画を生かしたカリキュラム・マネジメント 23～24
- 午前5時間制版 学力の定着・向上 25～26
- 午前5時間制版 生活習慣の確立 27～28
- 午前5時間制版 生み出した放課後のゆとり時間の活用 29～30

午前5時間制版教育課程

- 午前5時間制を導入するまでのプロセス(例) 31～32
- 午前5時間制実施校 各校の特色 33～46

現行の時間割編成で「新学習指導要領」に対応

目黒区立小学校の 午前5時間制の魅力

教育内容と「時間」という限られた資源の
効果的な組み合わせ

午前5時間制版 時間割編成

生活や学習のリズムの確立

- 集中力の高い午前中に5単位時間分の学習を行うことができる。(一単位時間：40分間)
- 生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯）の定着を図ることができる。

児童の学びの実態や学習内容に対応した弾力的な時間割の設定

- 午前5時間制は授業時数に余裕があるため、週時程を変更することなく、新学習指導要領に対応することができる。
- 「短時間学習」を設定し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができる。
- 児童の実態や学習内容を踏まえつつ、「長時間学習」の設定を弾力的に行い、学びの質を高めることができる。

指導計画の工夫、指導体制の確保、業務環境の整備等

- 単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で、指導計画上の位置付けを明確にして、弾力的な授業時間を設定することができる。
- 算数科や国語科の少人数学習指導、教科担任制等を導入することができる。
- 生み出した放課後の時間を児童への個別指導や教材研究の時間等に活用することができる。

カリキュラム・マネジメント

1日を「学びの午前」「活動の午後」と位置付け、恒常性と弾力性のバランスを図りながら、緩急ある生活のリズムを生み出し、質の高い授業を年間を通して実施することができます。

●生活時程

朝会 朝読書	8:10～ 8:15 8:15～ 8:25
朝の会	8:25～ 8:35
1校時	8:35～ 9:15
休み	9:15～ 9:20
2校時	9:20～ 10:00
休み	10:00～ 10:05
3校時	10:05～ 10:45
中休み	10:45～ 11:05
4校時	11:05～ 11:45
休み	11:45～ 11:50
5校時	11:50～ 12:30
給食	12:30～ 13:15
掃除 昼休み	
学習タイム	
6校時	
帰りの会・ 下校	15:00～

学
び
の
午
前

活
動
の
午
後

効果

●生活習慣の確立

75%の児童が早寝・早起きができるように気を付けています。また、95%の児童が給食の時間が少し遅くなることを考慮し、朝ご飯をしっかりと食べてきています。このように、午前5時間制は、**早寝・早起き・朝ごはんを習慣化**させることができます。

効果

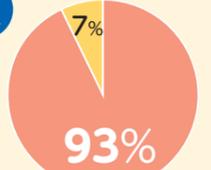
●授業時数と授業コマ数の確保

児童は授業開始時刻を守り、40分間集中して学習に取り組んでいます。また、午前中に5単位時間分の授業を行うため授業時数の確保につながります。**現行のまま新学習指導要領に対応**できます。

Q

授業の始めに遅れないように気を付けて行動していますか。

A



児童対象調査より H29
6校在籍児童（第4学年から第6学年）

あてはまる
あてはまらない

集中力の高い午前中に行う5単位時間の授業

効果

●短時間学習を活用した継続的な学習や知識・技能の習熟・定着

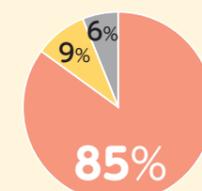
国語科や算数科の授業では、短時間学習を活用しています。単元や題材といった時間や内容のまとまりの中に適切に位置付け、授業の目標を明確にすることで**基礎的・基本的な知識・技能の定着**を図ることができます。

Q

短時間学習の時間は基礎・基本の定着を図ることに重点を置き、時間を守って始めていますか。

A

あてはまる
あてはまらない
どちらとも言えない



教員対象調査より H29

基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る「短時間学習」

効果

●長時間学習を活用した主体的・対話的で深い学びの充実

例 問題解決の過程の充実を図る学習活動（第6学年 理科）

長時間学習を活用して、実験を行う場合、その結果を基に個人及びグループで考察したり、考察したことを全体で発表し、結論を導き出したりする活動を充実させることができます。

思考力、判断力、表現力等の育成に効果的です。



理科の授業の様子

学習の質を高める「長時間学習」

生み出した放課後のゆとり時間

効果

●個別指導の充実

放課後の時間を活用して、授業で分からなかったところや苦手な学習を先生に個別に教えてもらったり、学校生活について先生と話をしたりすることができます。

児童

たくさん遊べて
うれしいな



●自由時間の拡大

放課後の時間を活用して、友達とランドセルひろばで、たくさん体を動かして遊ぶことができます。放課後、習い事があっても遊ぶ時間があると好評です。

教員

効果

教員の働き方改革にも
つながっています。

●研修、学年会の充実

放課後の時間を活用して、児童の学びの質の向上を図るために、弾力的な時間割設定に対応した指導方法や教材について、教員同士で話し合いながら研究を行うことができます。

授業力の向上につながっています。



生み出した放課後の時間を活用した研修の様子

授業時数の確保

目黒区では、二期制と夏季休業期間の短縮を行うことで、**振替休業日を設けない「土曜授業」を実施することなく**、年間35週以上を確保し、学校週5日制を完全実施しています。この中で、午前5時間制は、無理なく授業時数を確保することができます。

1 目黒区の特徴ある教育課程

全小・中学校で二期制の導入(平成19年度)

夏季休業期間の5日間の短縮を導入(平成20年度)

振替休業日を設けない「土曜授業」を実施することなく、学校週5日制の完全実施

2 授業時数の確保

登校 8:15

午前4時間制の場合(例 A校)

時間	月	火	水	木	金
15	朝の会				
1校時	1	2	3	4	5
休み					
2校時	6	7	8	9	10
休み	中休み				
3校時	11	12	13	14	15
休み					
4校時	16	17	18	19	20
給食	給食指導				
昼休み	昼休み			昼休み	
清掃	清掃指導		21	清掃指導	
休み					
5校時	22	23	下校指導	24	25
休み					
6校時	26	26		27	28
下校指導	学級での指導			学級での指導	

6校時終了 15:25

登校 8:10

午前5時間制の場合(例 B校)

時間	月	火	水	木	金
15	朝の会				
1校時	1	2	3	4	5
休み					
2校時	6	7	8	9	10
休み					
3校時	11	12	13	14	15
休み	中休み				
4校時	16	17	18	19	20
休み					
5校時	21	22	23	24	25
給食・歯磨き	給食指導				
清掃	清掃指導		下校指導	清掃指導	
昼休み	昼休み			昼休み	
短時間学習	国語 26	算数 27	クラブ活動 委員会活動 14:15~	国語 26	算数 27
6校時	30	29		28	31
下校指導	学級での指導		14:30~下校	学級での指導	

6校時終了 14:55

放課後の時間

3 授業時数の比較(例)

	①週当たりの授業コマ数	②年間総授業コマ数 (42週で単純積算:①×42)	③年間総授業時間 (42週 単純積算)	④午後の授業カットが生じた場合のカットされる授業時間 (年間15回を想定した場合)	⑤年間総授業時間 (③-④)
午前4時間制(A校)	28コマ (一単位時間45分間が28コマ)	1176コマ (一単位時間45分間が1176コマ)	52920分間 (45分間の授業を1176コマ)	1350分間カット (45分間の授業を2コマを15回カット)	51570分間
午前5時間制(B校)	31コマ (一単位時間40分間が27コマ 一単位時間45分間が4コマ)	1302コマ (一単位時間40分間が1134コマ 一単位時間45分間が168コマ)	52920分間 (一単位時間40分間が1134コマ 一単位時間45分間が168コマ)	675分間カット (45分間を15回カットの場合) 975分間カット (学習タイムから65分間を15回カットの場合)	52245分間 51945分間

午前5時間制は、午後の授業をカットする場合でも、午前中に一単位時間40分間の授業を5コマ実施しているため、**授業時数の確保につながっています。**

午前5時間制の方が
675分間多い。

午前5時間制の方が
375分間多い。

Q1 なぜ、午前4時間制と午前5時間制とでは、年間総授業時間(⑤)の差が生じるのですか。

A1 週あたりの授業コマ数(①)に年間実施週数(42週)をかけ合わせた年間総授業時間(③)は、午前4時間制と午前5時間制とでは、52920分間と同じですが、午後に学校行事や教員対象の研修会等で授業ができない場合でも、午前5時間制は柔軟に対応することができることから差が生じることになります。

●学校行事や研修等で、午後の授業カットが生じる場合(④)

午前4時間制
午後の授業カットが生じる場合、午後の授業コマ数は26コマとなり、90分間の授業時間がカットされます。

午前5時間制
午後の授業カットが生じる場合、午後の授業コマ数は26コマとなり、90分間の授業時間がカットされます。短時間学習及び6校時の授業をカットすることもあります。状況に応じて午後5校時の授業をカットし、6校時の授業を短時間学習に振り替えることも可能です。このように、午前5時間制は状況に応じて午後5校時の授業を柔軟に対応することが可能となり、授業時数の確保につながっています。

Q2 午前5時間制は、午前4時間制に比べ年間総授業時間(⑤)が多いですが、余裕時数をどのように活用していますか。

A2 午前5時間制は余裕時数を十分確保することができます。この余裕時間は基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る時間や発展的な学習に取り組む時間等、児童の実態に応じて活用することができます。また、第5・6学年の「外国語科」に伴い、増える35単位時間をどのように生み出すかが課題となっていますが、**午前5時間制は週時程を変更することなく、新学習指導要領に対応することができます。**

●児童の実態に合わせて余裕時数を活用

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る時間として活用
- 発展的な問題に取り組む時間として活用
- 体験的な学習に取り組む時間として活用



年間指導計画の作成 例

一単位時間40分間で実施する単元指導計画を作成し、年間指導計画を作成しています。

用意するもの

- 一単位時間45分間の年間指導計画（各教科等）
- 一単位時間40分間の年間指導計画の記入用紙

参考

- 学習指導要領、学習指導要領解説（各教科等）
- 教科書（各教科）

START

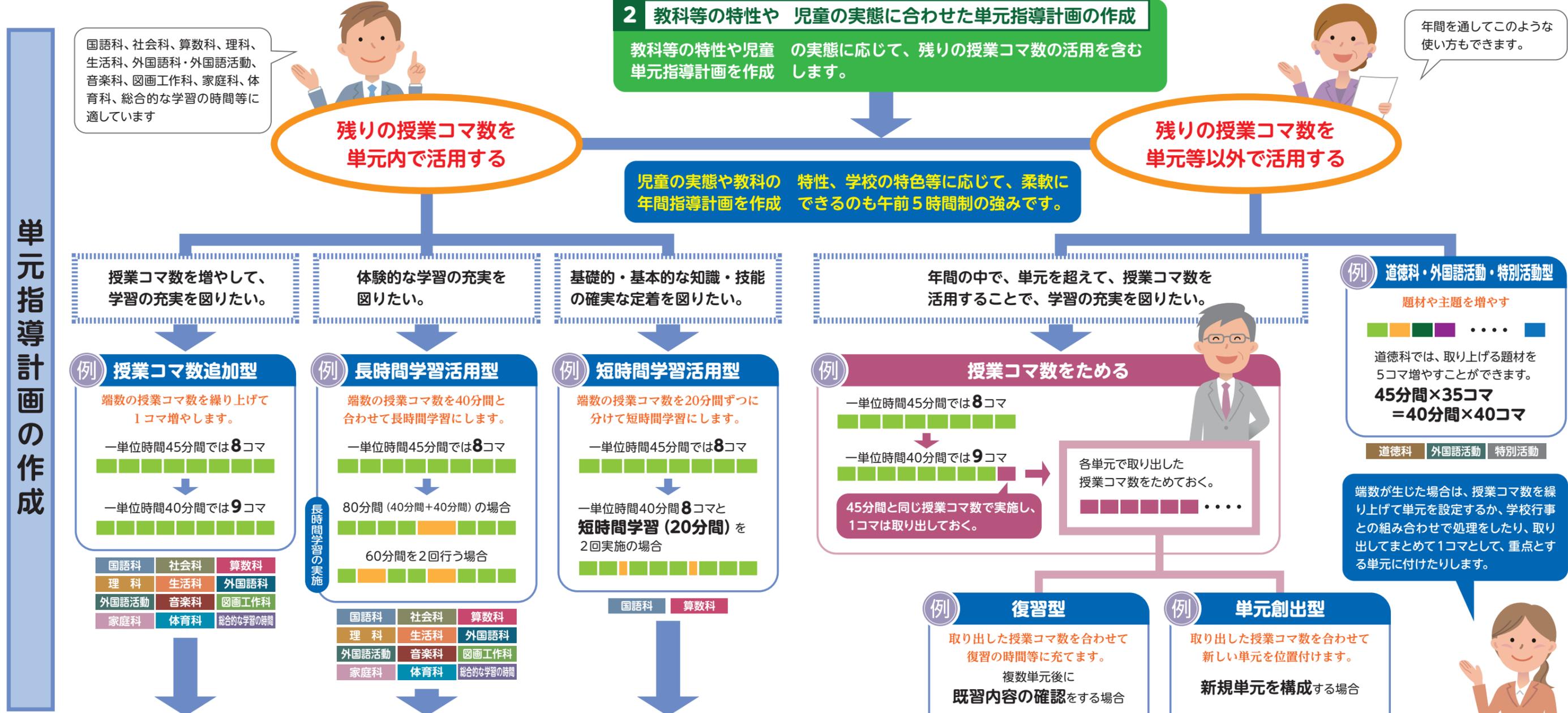
1 各単元の授業コマ数の確認
一単元における一単位時間45分間の授業コマ数を一単位時間40分間の授業コマ数に換算します。

2 教科等の特性や児童の実態に合わせた単元指導計画の作成
教科等の特性や児童の実態に応じて、残りの授業コマ数の活用を含みます。

例 算数科

① 「1. 対称」の単元は、一単位時間45分間で8コマ実施する。
(45分間：8コマ)

② 一単位時間40分間では、9コマ実施することになる。
(40分間：45分間×8コマ÷40分間=9コマ)



単元指導計画の作成

3 年間指導計画の作成
各単元指導計画を合わせて「年間指導計画」を作成します。

※「〇〇型」は目黒区午前5時間制検討委員会で共通理解を図るために、作成した言葉です。

年間指導計画の例は 9～14 ページに載っています。

年間指導計画 算数科

午前5時間制は、一単位時間が40分間です。基礎的・基本的な知識・技能の定着は短時間学習の時間と関連付けながら行い、発展的な学習は長時間学習を活用するなど、児童の実態に合わせた年間指導計画を立てることができます。

午前5時間制ではどのような工夫をしているの？



一単位時間45分間の場合(例A校)

算数科(第6学年)の年間指導計画を例に

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一単位時間 45分間	1. 対称 ⑫	1. 対称 ① 2. 文字と式 ⑧ 3. 分数のかけ算 ⑩	4. 分数のわり算 ●記録比べ ⑨ ③ 5. 小数と分数のわり算 ⑦ 6. 曲線のある形の面積 ①	6. 曲線のある形の面積 ⑩ ○復習 ①	○復習 ①	7. ならべ方と組み合わせ方 ⑨ 8. 速さ ⑧	8. 速さ ① 9. 立体の体積 ⑧ 10. 比とその応用 ⑪	11. 拡大図と縮図 ⑪ 12. 比例と反比例 ⑩	12. 比例と反比例 ⑨ ○復習 ②	13. 資料の調べ方 ⑥ 14. 量と単位 ⑧	15. 算数のまとめ ⑦ 中学校へのかけ橋 1. 算数で使ってきた考え方 ⑫	中学校へのかけ橋 1. 算数で使ってきた考え方 ① 2. 中学校へのかけ橋 ⑨	175
授業コマ数 (一単位時間45分間)	12	19	20	11	1	17	20	21	11	14	19	10	

午前5時間制は児童の実態に合わせて年間指導計画を立てることが可能です！

一単位時間40分間の場合(例B校)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一単位時間 40分間	1. 対称 ⑫	1. 対称 ① 2. 文字と式 ⑧ 3. 分数のかけ算 ⑩	4. 分数のわり算 ●記録比べ ⑨ ③ 5. 小数と分数のわり算 ⑦ 6. 曲線のある形の面積 ①	6. 曲線のある形の面積 ⑨ ○復習 ①	○復習 ①	7. ならべ方と組み合わせ方 ⑨ 8. 速さ ⑧	8. 速さ ① 9. 立体の体積 ⑧ 10. 比とその応用 ⑪	11. 拡大図と縮図 ⑪ 12. 比例と反比例 ⑨	12. 比例と反比例 ⑨ ○復習 ②	13. 資料の調べ方 ⑥ 14. 量と単位 ⑧	15. 算数のまとめ ⑦ 中学校へのかけ橋 1. 算数で使ってきた考え方 ⑪	中学校へのかけ橋 1. 算数で使ってきた考え方 ① 2. 中学校へのかけ橋 ⑨	
短時間学習 (20分間)	1. 対称 ③	2. 文字と式 ② 3. 分数のかけ算 ③	4. 分数のわり算 ③ 5. 小数と分数のわり算 ②	6. 曲線のある形の面積 ②		7. ならべ方と組み合わせ方 ② 8. 速さ ②	9. 立体の体積 ② 10. 比とその応用 ③	11. 拡大図と縮図 ② 12. 比例と反比例 ②	12. 比例と反比例 ② ○復習 ①	13. 資料の調べ方 ① 14. 量と単位 ③	15. 算数のまとめ ③	2. 中学校へのかけ橋 ②	
長時間学習 (65分間)				6. 曲線のある形の面積 1				12. 比例と反比例 1			中学校へのかけ橋 1. 算数で使ってきた考え方 1		
授業コマ数 (一単位時間40分間)	13 4/8	21 4/8	22 4/8	12 5/8	1	19	22 4/8	23 5/8	12 4/8	16	21 1/8	11	196 7/8

同じ175コマでも午前5時間制は児童の実態に応じて短時間学習や長時間学習との関連を図るなど工夫をすることができます。

継続的に実施
基礎的・基本的な
知識・技能の定着

発展的な学習等

一単位時間45分間で換算すると175コマ

Q1

午前5時間制は一単位時間40分間のため、一単位時間が45分間の場合と比べ、授業の時間が5分間短いこととなります。どのような工夫をしていますか。

A1

40分間の授業において、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることができるように、例えば、練習問題に取り組むなど、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習内容は短時間学習の時間を活用しています。

一単位時間
45分間の場合



一単位時間
40分間の場合



●練習問題は短時間学習の時間も活用して繰り返し学習するため、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができます。

Q2

どのような学習内容を長時間学習で取り組んでいるのですか。

A2

一単位時間40分間の授業内容との関連を図りながら、例えば、言語活動等を通じた発展的な学習や体験的な学習内容において、長時間学習の時間を活用しています。

第6学年 年間指導計画 例

国語科

駒場小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一単位時間 40分間	・詩を味わおう ① ・カレーライス ⑤ ・春のいぶき ②	・笑うから楽しい⑦ ・学級討論会 ⑧	・本は友達 ⑤ ・河鹿の屏風 ① ・夏のさかり ②	・ようこそ私たちの町へ ⑫	・たのしみは ③	・未来がよりよくなるために ⑪
一単位時間 40分間 (書写)	・学習の見直しをもと ・字形を整えて書こう ・部分の組み立て方1(三つの部分)②	・部分の組み立て方1「三つの部分」(毛筆)②	・読みやすい紙面構成を考えよう 用紙に合った文字の大きさと配列(毛筆)④			・効率のよい書き方のリズムを身につけよう ほ先の動きと点画のつながり(毛筆)③
短時間学習 (20分間)	9 (漢字6言葉3)	14 (漢字10言葉4)	10 (漢字6言葉4)	6 (漢字3言葉3)	2 (漢字1言葉1)	9 (漢字5言葉4)
長時間学習 (65分間)				・ようこそ私たちの町へ 1		
授業コマ数 (一単位時間40分間)	14 4/8	24	17	16 5/8	4	18 4/8

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活の中の言葉 ② ・やまなし ⑧ ・秋の深まり ②	・鳥獣戯画を読む ⑥ ・この絵、私はこうみる ⑥	・伝えられてきたもの ⑤ ・日本で使う文字② ・表現を選ぶ ③	・未知へ ① ・自然に学ぶ暮らし ⑥ ・忘れられない言葉 ⑥	・春を待つ冬 ② ・海の命 ⑥	・今、わたしは、ぼくは ⑥ ・卒業するみなさんへ ⑤	
・効率のよい書き方のリズムを身につけよう ほ先の動きと点画のつながり(毛筆)③	・学習したことを生かして書こう 書きぞめ(毛筆)③	・学習したことを生かして書こう 書きぞめ(毛筆)③	・六年生のまとめ(毛筆)④	・未来に向かって(毛筆)③		
12 (漢字8言葉4)	11 (漢字7言葉4)	6 (漢字4言葉2)	8 (漢字5言葉3)	11 (漢字7言葉4)	8 (漢字6言葉2)	
21	20 4/8	16	21	16 4/8	15	

残りの授業コマ数は、児童の実態に応じて、「長時間学習活用型」と「短時間学習活用型」を組み合わせ、年間指導計画を作成しています。



204 5/8

算数科

中目黒小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一単位時間 40分間	・対称 ⑫	・文字と式 ⑧ ・分数のかけ算 ⑩	・分数のわり算 ⑨ ・記録比べ ④ ・小数と分数の計算 ⑦ ・曲線のある形の面積 ②	・曲線のある形の面積 ⑧ ・復習1 ③	・ならべ方と組み合わせ方 ⑨ ・速さ ⑧	
短時間学習 (20分間)	・5年の復習② ・対称②	・文字と式② ・分数のかけ算②	・分数のわり算② ・記録比べ② ・小数と分数の計算②	・曲線のある形の面積② ・復習②	・ならべ方と組み合わせ方② ・速さ②	
長時間学習 (60分間)			・曲線のある形の面積 1			・速さ 1
授業コマ数 (一単位時間40分間)	14	20	26 4/8	13	20 4/8	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・立体の体積 ⑦ ・比とその応用 ⑪	・拡大図と縮図 ⑩	・比例と反比例 ⑬ ・復習2 ③	・資料の調べ方 ⑥ ・量と単位 ⑧	・算数のまとめ ⑦ ・算数で使ってきた考え方(別冊)⑫	・中学へのかけ橋(別冊)⑨	
・立体の体積② ・比とその応用②	・拡大図と縮図②	・比例と反比例② ・復習②	・資料の調べ方② ・量と単位②	・算数のまとめ②		
・立体の体積 1	・拡大図と縮図 1					
21 4/8	12 4/8	24	16	20	9	

残りの授業コマ数は、児童の実態に応じて、「長時間学習活用型」と「短時間学習活用型」を組み合わせ、年間指導計画を作成しています。



197

理科

向原小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一単位時間 40分間	・地球と私たちの暮らし ② ・物の燃え方と空気 ③	・物の燃え方と空気 ① ・動物のからだのはたらき ⑨	・植物のからだのはたらき ⑥ ・学びをつなごう① ・生き物 ③	・生き物のくらしと環境 ⑤ ・学びをつなごう② ・私の研究 ②	・私の研究 ① ・太陽と月の形 ②	・太陽と月の形 ④ ・大地のつくり ②
長時間学習 (90分間) ※火曜日・木曜日	・物の燃え方と空気 2	・物の燃え方と空気 1	・植物のからだのはたらき 1 ・生き物のくらしと環境 1			・太陽と月の形 1 ・大地のつくり 1
授業コマ数 (一単位時間40分間)	9 4/8	12 2/8	14 4/8	9	3	10 4/8

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・大地のつくり ⑥ ・変わり続ける大地 ② ・学びをつなごう① ・てこのはたらき②	・てこのはたらき⑤ ・水溶液の性質とはたらき ③	・水溶液の性質とはたらき ⑦	・電気と私たちの暮らし ⑥	・電気と私たちの暮らし ② ・学びをつなごう① ・地球に生きる ⑤	・地球に生きる ④ ・たくさんの発見をしたね ②	
・変わり続ける大地 1	・てこのはたらき 2 ・水溶液の性質とはたらき 1	・水溶液の性質とはたらき 2	・電気と私たちの暮らし 2	・電気と私たちの暮らし 2	・地球に生きる 1	
13 2/8	14 6/8	11 4/8	10 4/8	12 4/8	8 2/8	

残りの授業コマ数は、児童の実態に応じて、「長時間学習活用型」を取り入れて年間指導計画を作成しています。



129 4/8

第6学年 年間指導計画 例

外国語科

月光原小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一単位時間 40分間	・自己紹介 ④	・自己紹介 ④ ・目黒区を案内しよう ①	・目黒区を案内しよう ⑥ ・人物紹介 ②	・人物紹介 ⑥	・自分たちの町・地域 ②	・自分たちの町・地域 ⑥ ・夏休みの思い出 ②
45分間学習	・復習 1	・復習 1	・復習 2	・復習 1		・復習 1
授業コマ数 (一単位時間40分間)	5 1/8	6 1/8	10 2/8	7 1/8	2	9 1/8

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・夏休みの思い出 ⑥ ・オリンピックパラリンピック ①	・オリンピックパラリンピック ④ ・小学校生活・思い出 ②	・小学校生活・思い出 ④ ・復習 ②	・将来の夢・職業 ⑦	・将来の夢・職業 ① ・復習 ①	・将来の夢・職業 ① ・中学校生活・部活動 ⑤	・中学校生活・部活動 ③ ・復習 ①
・復習 1 ・オリンピックパラリンピック 1	・復習 1		・復習 1	・復習 1	・復習 1	・復習 1
9 2/8	7 1/8	6	8 1/8	8 1/8	5 1/8	83 4/8

残りの授業コマ数は、児童の実態に応じて、「復習型」を取り入れて年間指導計画を作成しています。



83 4/8

外国語科

原町小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一単位時間 40分間	・自己紹介 ⑤	・自己紹介 ④ ・目黒区を案内しよう ③	・目黒区を案内しよう ⑤ ・人物紹介 ⑤	・人物紹介 ④ ・自分たちの町・地域 ③	・自分たちの町・地域 ②	・自分たちの町・地域 ④ ・夏休みの思い出 ⑤
短時間学習 (25分間)						
長時間学習 (70分間)			・目黒区を案内しよう 1			
授業コマ数 (一単位時間40分間)	5	7	11 3/4	7	2	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・夏休みの思い出 ④ ・オリンピックパラリンピック ⑤	・オリンピックパラリンピック ① ・小学校生活・思い出 ⑦	・小学校生活・思い出 ① ・将来の夢・職業 ④	・将来の夢・職業 ④	・将来の夢・職業 ① ・中学校生活・部活動 ④	・将来の夢・職業 ① ・中学校生活・部活動 ④	・中学校生活・部活動 ③
			・将来の夢・職業 ①	・将来の夢・職業 ①	・中学校生活・部活動 ①	
9	9 3/4	7 3/8	4 5/8	7 3/8	4 3/4	84 5/8

残りの授業コマ数は、児童の実態に応じて、「長時間学習活用型」と「短時間学習活用型」を組み合わせる年間指導計画を作成しています。



84 5/8

道徳科

烏森小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名 (内容項目)	1. 心を形に(礼儀) 2. あこがれのパーティエ(個性の伸長) 3. うちら“ネコの手”ボランティア(勤労・公共の精神) ○烏森の子(礼儀)	4. おばあちゃんのさがしもの(家族愛・家庭生活の充実) 5. 白神山地(伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度) 6. 愛華さんからのメッセージ(自然愛護)	7. 車いすでの経験から(親切・思いやり) 8. 白旗の少女(国際理解・国際親善) 9. 土石流の中で救われた命(感謝) 道徳授業地区公開講座	10. ばかじゃん(友情・信頼) 11. ピアノの音が(規則の尊重) 12. 命の重さはみな同じ(生命の尊さ) ○烏森の子(善悪の判断)	13. エンザロ村のかまど(国際理解・国際親善) 15. 空きかんのゆくえ(規則の尊重) 16. 心をつなぐ音色(希望と勇気、努力と強い意志)	14. 修学旅行の夜(善悪の判断・自律・自由と責任) 15. 空きかんのゆくえ(規則の尊重) 16. 心をつなぐ音色(希望と勇気、努力と強い意志)
授業コマ数 (一単位時間40分間)	4	3	3	4	1	3

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17. お母さん、お願いね(節度、節制) 18. 言葉のおくりもの(友情・信頼) 19. お母さんへの手紙(生命の尊さ) 20. 手品師(正直、誠実) ○烏森の子(生命尊重)	21. 田中正造(公正・公平・社会正義) 22. せんぱいの心を受けついで(よりよい学校生活・集団生活の充実) 23. 義足の聖火ランナー(よりよく生きる喜び)	24. 新しい日本に(伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度) 25. 夜空(感動、畏敬の念) 26. 銀のしょく台(相互理解、寛容) ○烏森の子(振り返り)	27. タマゾン川(自然愛護) 28. 心に通じた「どうぞ」のひとつ(親切・思いやり) 29. 「すまへん」でいい(節度・節制)	30. 東京大空襲の中で(生命の尊さ) 31. 夢(希望と勇気、努力と強い意志) 32. 青の洞門(感動、畏敬の念)	33. 小さな連絡船「ひまわり」(よりよい学校生活、集団生活の充実) 34. 桜守の話(勤労、公共の精神) 35. まんがに命を(真理の探究) ○烏森の子(まとめ)	
5	4	3	3	3	4	40

残りの授業コマ数は、児童の実態に応じて、「道徳科・特別活動型」を取り入れて年間指導計画を作成しています。



40

●烏森小学校は、年度初めの4月、夏休み前の7月、前期終了の10月、冬休み前の12月、年度終わりの3月に『烏森の子』として道徳教育※40分間を1単位時間として、年間で40分間×40コマ=1,600分間の授業時数を確保する。(標準授業時数は45分間×35=1,575分間)

の重点項目である「善悪の判断」、「礼儀」、「生命尊重」などを内容項目にした授業を行う。

単元指導計画

児童が習得した概念や思考力等を手段として活用・発展させながら学習に取り組み、その中で資質・能力の活用と育成が繰り返せるように、年間指導計画、単元指導計画、40分間の授業展開を工夫することができます。

例 算数科 第6学年「曲線のある形の面積」

※算数科は「東京方式習熟度別指導ガイド ライン」に基づき、習熟度別指導を実施

一単位時間45分間の場合

小単元	主な学習活動
1 円の面積	およその面積の求め方を考える。
2 円の面積を 求める公式	円の面積を、既習の図形に変形するなど工夫して求める。 求積公式を適用して、円の面積を求める。
4	これまでに学習した公式を半円や四分円に適用させる。
5 工夫して面積 を求める問題	これまで学習した公式を複合図形に適用させる。
6	おうぎ形をかいたり、面積を求めたりする。
7 およその面積	概形を基本的な図形と見て、面積を求める。
8 練習	練習問題を解く。
9 力だめし	既習事項の確かめをする。
10 ひもを使って 円の面積を 確かめよう	三角形の面積の公式から円の面積の公式を導き出す。
11	単元末テスト、次の単元のレディネステスト

午前5時間制実施校の場合

児童の実態に応じて、短時間学習と長時間学習を関連付けながら単元指導計画を立てることが可能です。

補充 コース	小単元	主な学習活動
1	円の面積	およその面積の求め方を考える。
2	円の面積を 求める公式	円の面積を、既習の図形に変形するなど工夫して求める。
3		求積公式を適用して、円の面積を求める。
4	工夫して面積 を求める問題	これまでに学習した公式を半円に適用させる。
5		これまでに学習した公式を四分円に適用させる。
6		これまで学習した公式を複合図形に適用させる。
7	おうぎ形をかいたり、面積を求めたりする。	
8	およその面積	概形を基本的な図形と見て、面積を求める。
9	練習	練習問題を解く。
10	力だめし	既習事項の確かめをする。
11	ひもを使って 円の面積を 確かめよう	三角形の面積の公式から円の面積の公式を導き出す。
12	単元末テスト、次の単元のレディネステスト	

65分間の長時間学習を実施

20分間の短時間学習を2回実施

※短時間学習は各学級で実施

基礎的・基本的な
知識・技能の定着を図る
「学習タイム(短時間学習)」

- ・計算の練習問題に取り組む。
- ・円、半円、四分円、複合図形の面積を求める問題に取り組む。

学習の質を高める「長時間学習」

- ・友達と考えを伝え合い、よりよい解法に練り上げるための意見の交流や議論などの対話的な場面を設定する。

授業へのポイント

■学習集団を意識した「年間指導計画」、「単元指導計画」等の立案



目黒区学力調査結果から「年間指導計画」「単元指導計画」を作成し、「正答率度数分布」から学習集団の傾向を捉え、学習集団に適した「一単位時間の授業展開」を考えます。



■「週ごとの指導計画」の活用



学校で編成した教育課程における位置付けを確認しながら、一単位時間の指導を行い、年間を通して確実に担当する教科等の指導内容を実施します。また、その指で教員同士の授業参観や「週ごとの指導計画」を活用した校内研修等、

■生み出した放課後の時間の活用



教員による打ち合わせの様子

生み出した放課後の時間を活用し、学年での教材研究や研修を行うなど授業改善に向けた取組ができます。

- 例
1. 学年主任が1時間進んだ内容の授業を行い、板書をデジタルカメラで写す。
 2. 学年会で、その板書の写真を見ながらさらに教材研究を行う。
 3. 学年主任以外の学級において授業実践する等、学校全体で共有する。

40分間授業における主体的・対話的で深い学びの実現 ①

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して、各教科等の特質に応じた主体的・対話的で深い学びにつながる活動をどのような場面で、またどのように取り入れるかを考え、計画的・継続的に改善・充実を図ります。

主体的・対話的で深い学びを実現するために

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して行います。

こんなところがポイントです

例 国語科 第6学年
「筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう」

どのような場面で、どのような工夫を行い、取り入れるかを単元を見通して考えます。



	学習活動	評価	授業改善の視点(重点)			授業展開における留意点
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び	
1	・単元名とリード文を確認し、「筆者の意図をとらえ、具体例を挙げながら自分の考えを説明する」という学習課題を確認し、学習計画を話し合う。	【関】文章の内容や筆者の考えに関心を持ち、自分の考えをもととしている。	見通しをもつ			導入の時間を十分に確保する
2	・「笑うから楽しい」を読み、具体的な事実の部分と筆者の意見を整理しながら、構成を捉える。 ・筆者の考えに対する自分の考えを述べる。	【読】筆者の主張と根拠を読み取り、自分の経験を振り返り、自分の考えをもととしている。 ・筆者の主張について、自分の考えを具体例とともに発表できている。		思考を表現に置き換える		言語活動の時間を十分に確保する
3	・「時計の時間と心の時間」を自分の考えをもちながら読み、筆者の挙げた事実や例の要旨をノートにまとめ、筆者の意見を整理する。	・筆者の主張について、自分の考えを具体例とともに発表できている。 ・発表し合うことで、友達と自分との共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。		互いの考えを比べる		言語活動の時間を十分に確保する
4	・筆者の主張に対する、自分の考えをまとめる。 ・経験や例で自分が考えたことを、筆者の意見を取り入れながらノートにまとめる。	【言】筆者が結論に至るまでの過程について、文章の構成を理解している。			自分の考えを形成する	言語活動の時間を十分に確保する
5	・自分の考えを発表する。意見を聞き合い、感想を交流する。 ・考えが多様であることを確認する。			多様な手段で説明する	思考して問い続ける	言語活動の時間を十分に確保する
6	・学習を振り返る。 ・事例と考えの関わりについて確かめる。		振り返って次へつなげる			振り返りの時間を十分に確保する

40分間で実施するために

こんなところがポイントです



午前5時間制実施校の先生に40分間で実施するための工夫を聞きました。
(「午前5時間制検討委員会ワーキンググループ」より)

- 国語科**
- 単元学習計画を予め掲示しておくことで、前時までの学習の振り返りや本時の課題把握を速やかにします。
 - 漢字の学習等の基礎的・基本的な知識・技能に関する学習内容は、短時間学習を活用します。
 - グループ学習やペア学習を取り入れ、一人ひとりの活動量を増やします。

- 社会科**
- 単元の学習計画を予め掲示しておくことで、前時までの学習の振り返りや本時の課題把握を速やかにします。
 - 児童が具体的に学ぶことができるよう取り上げる事例を選択します。その際、取り上げる事例に重複や偏りが生じないように配慮します。
 - 「導入」では、提示する資料を精選し、児童がスムーズに課題把握できるようにします。

- 算数科**
- 児童が新たな問題に出会った際に、前時までの学習を振り返り、活用して問題解決を図ることができるように、既習事項はホワイトボード等に残しておき、次時に活用できるようにします。
 - 計算問題等の基礎的・基本的な知識・技能に関する学習内容は、短時間学習を活用します。
 - グループ学習やペア学習を取り入れ、一人ひとりの活動量を増やします。

- 理科**
- 児童が活動しやすいように実験器具等を整理整頓しておくとともに、その配置を予め児童に周知しておき、実験の準備、片付けに時間をかけないようにします。
 - 自然の事象・現象を観察する活動では、時間をかけて観察をすることが難しい場合、観察するポイントを示したり、ICT教材を活用したりします。

- 生活科**
- 児童の生活リズムや集中する時間、意欲の高まりを大切に、10分から15分程度の短い時間を活用した学習活動を組み合わせます。
 - 生活科を中心とした総合的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をするとともに、長時間学習の時間の活用を図ります。

- 外国語活動**
- 学級担任等(T1)とALT(T2)が打ち合わせを確実にし、スムーズに授業を進められるようにします。
 - 活動内容に合わせた場の設定を5分間の休憩時に行います。外国語教育用の教室がある場合は、同じ学年が同じ曜日を使用できるように時間割を設定します。
 - 単元指導計画を示し、見通しをもたせたり、既習事項を掲示することで前時の振り返りの時間を短縮したりします。

音楽科

- 単元学習計画や準備する楽器、活動の流れ等を予め黒板に明記しておくことで、本時の活動について、端的に説明できるようにします。
- 楽器の準備、片付けの時間を短縮するために、同じ曜日に、同一学年の授業が入るように工夫して時間割を設定します。

図画工作科

- 単元学習計画や準備する材料や道具、作品の作り方等を予め黒板に明記したり、見本となる実物を提示したりしておくことで、説明する時間の効率化を図ります。
- 準備、片付けの時間を短縮するために、同じ曜日に、同一学年の授業が入るように工夫して時間割を設定します。
- 40分間授業を2コマ続けて、長時間学習とします。

家庭科

- 単元学習計画や準備するもの、活動の流れ等を予め黒板に明記したり、見本となる実物を提示したりしておくことで、説明する時間の効率化を図ります。
- 準備、片付けの時間を短縮するために、同じ曜日に、同一学年の授業が入るように工夫して時間割を設定します。
- 調理実習や布を用いた物の製作では、40分間授業を2コマ続けて、長時間学習とします。

体育科

- 単元学習計画や準備するもの、活動の流れ等を予めホワイトボード等に明記し、説明する時間の効率化を図ります。
- 準備、片付けの時間を短縮するために、同じ曜日に、同一学年の授業が入るように工夫して時間割を設定します。
- 学習内容によって、短時間学習と40分間授業を続けて長時間学習を活用します。

道徳科

- 書く活動を精選して意図的・計画的に取り入れます。(例)中心発問に対する考えや振り返りを書かせます。)
- 言語活動を十分に確保するために、長時間学習を活用します。

総合的な学習の時間

- 児童が見通しをもって取り組むことができるように、活動の計画等を模造紙に書いて掲示しておきます。
- 調べ学習等の探究的活動の時間を確保するために長時間学習を活用します。

特別活動

- 話し合う内容を事前に予告し、自分の考えをもたせておきます。
- 司会グループと事前に打ち合わせをし、スムーズな進行ができるようにします。
- 活動内容によって、短時間学習や長時間学習を活用します。

40分間授業における主体的・対話的で深い学びの実現 ②

40分間の授業づくりは、一単位時間45分間の授業内容を一単位時間40分間で実施することが基本です。児童が考え、活動する時間は一単位時間45分間の授業と同様の時間を確保しています。

●先生と児童による授業規律の確立が重要です

授業は「チャイム」で始まり、「チャイム」で終わります。

40分間ごとのリズムを大切にします

国語科、算数科等、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることに短時間学習を活用する場合は**Aパターン**です。

例

45分間の 学習指導案

一単位時間40分間の 授業を考えましょう

用意するもの

- 単元指導計画
- 学習指導要領、学習指導要領解説（各教科）
- 教科書（各教科）（ 指導書）
- 冊子「学習集団を意識した授業づくり 目黒区授業改善の手引き ～学力調査活用編～」

Aパターン

ステップ 1

Bパターン

短時間学習活用型

40分間短縮型

単元指導計画を基に学習集団を意識し、本時における「導入」「展開」「まとめ」の学習内容を考えます。

問題解決型学習、体験学習、グループディスカッション等を取り入れる学習は**Bパターン**です。

45分間



一単位時間40分間の授業で取り扱う内容と短時間学習で行う内容を決めます。

短時間学習活用型

40分間で実施するために

\\ こんなところがポイントです //

▶漢字の学習、計算問題等の基礎的・基本的な知識・技能に関する学習内容は、短時間学習を活用します。



ステップ2で決めた短時間学習で取り上げる学習内容を除き、一単位時間40分間の授業展開の時間配分を改めて考えます。

40分間



まず、①、③、⑤、⑦の4題に取り組みます。

次の計算をしましょう。

- | | | | |
|-----------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| ① $0.6 + \frac{4}{9}$ | ② $0.7 + \frac{4}{5}$ | ③ $\frac{3}{7} + 0.4$ | ④ $\frac{2}{3} + 0.45$ |
| ⑤ $\frac{7}{8} - 0.3$ | ⑥ $1\frac{4}{7} - 0.4$ | ⑦ $\frac{7}{8} - 0.25$ | ⑧ $\frac{1}{5} - 0.12$ |

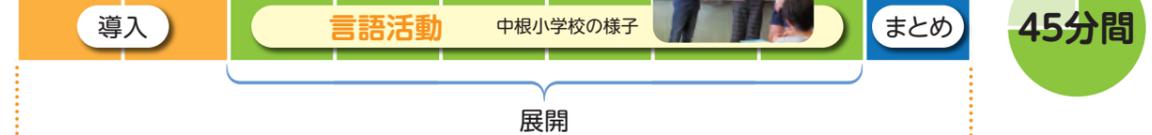
算数の場合

40分間の 学習指導案

ステップ 2

ステップ 3

例



40分間短縮型

言語活動等の充実を図るために、「先生が教える場面」と「児童が考える場面」とを明確にします。



駒場小学校の様子

言語活動の時間を十分確保します

ICTの活用も効果的です

家庭科の調理実習や理科の観察・実験では、40分間授業を2コマ続けて、長時間学習とします。

言語活動等の時間は、一単位時間45分間の授業で設定する時間と同様の時間を確保します。

「言語活動」の充実を図るためには、活動の時間を十分確保する必要があります。一単位時間40分間で活動の時間を十分確保するための工夫を考えます。



40分間で実施するために

\\ こんなところがポイントです //

- 提示する資料の精選 導入に時間をかけずぐずりに課題把握へつなげることができます。
- 掲示または板書の工夫 単元指導計画、準備するもの、活動の流れ等、前時までの学習の振り返りや本時の課題把握が速やかにできます。
- 時間割設定の工夫 同じ曜日に同一学年の授業が入るようにすることで、準備、片付けの時間を短縮できます。

40分間授業における主体的・対話的で深い学びの実現 ③

例 第4学年

- 1 単元名 いろいろな四角形
- 2 本時の目標 平行四辺形の定義を理解する。

Bパターン

40分間短縮型

問題解決型学習、体験学習、グループディスカッション等を取り入れる学習はBパターンです。



児童が考えたり、友達に自分の考えを伝え合ったりする時間は一単位時間45分間のときと同じように確保しています。そのため、40分間で実施するための工夫をしています。

3 本時の展開(第8時)

	学習活動	・指導上の留意点 【 】評価の観点
導入	<p>1 課題をつかむ。 T: 教科書47ページで作った四角形の中で、向かい合った2組の辺が平行な四角形はどれですか。 C: 長方形や正方形を除くと、「う」、「え」、「け」、「こ」が残ります。 C: 向かい合った2組の辺が平行な四角形はなんて言うのかな。</p> <p>平行な辺を2組もつ四角形について調べよう。</p>	<p>・第1時に使用したドット図を準備しておく。</p>
展開	<p>2 「平行四辺形」という用語を知る。 T: このような向かい合った2組の辺が平行な四角形を何といいますか。 C: (定義を書いた用紙を読む) 向かい合った2組の辺がそれぞれ平行な四角形を「平行四辺形」といいます。</p> <p>3 方眼紙を使っていろいろな平行四辺形をかく。 T: 平行四辺形はどのようにしたらかくことができますか。 C: 台形をかいたときのように、平行な直線を三角定規を組み合わせてかいたらかけるといいます。それを2回かいたらいいと思います。</p>	<p>・台形の定義と比べながら「向かい合った」「2組の辺」などの言葉で表せることを理解できるようにする。</p> <p>・向かい合った辺がそれぞれ平行であればよいので、平行四辺形には違うものもあることを押さえる。</p> <p>【知】 台形の定義をもとに、辺の関係をとらえ、平行四辺形は向かい合う2組の辺が平行であることを理解している。</p> <p>・平行四辺形のかき方を考え、説明させる。</p>
まとめ	<p>4 振り返りをする。 T: 今日の学習で分かったことや学習の成果などを伝え合いましょう。 C: 身の回りにも平行四辺形の形をしたものがあることに気付きました。例えば、包装紙の模様で平行四辺形を見たことがあります。 C: 最初は平行四辺形のかき方が分からなかったけれど、台形をかいたときのように平行な直線を使ってかくとよいことが分かりました。</p>	<p>・今日の学習を振り返って分かったこと、友達の考えのよいところ、発表や話合いのときに気付いたことなどについて具体的に発表させる。</p>

\\ こんなところがポイントです //

単元指導計画、準備するもの、活動の流れ等を掲示しておきます。

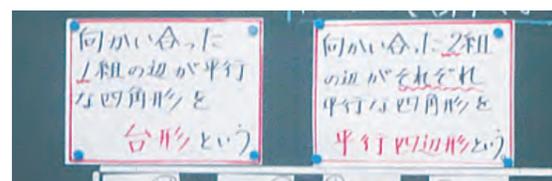


前時に、第1時で児童が作成した四角形を平行な直線をもとに仲間分けしたものを用意します。台形の復習とともに本時の目標に端的につなげていきます。



\\ こんなところがポイントです //

言語活動の充実を図るために、「児童が考える場面」と「先生が教える場面」を明確にします。



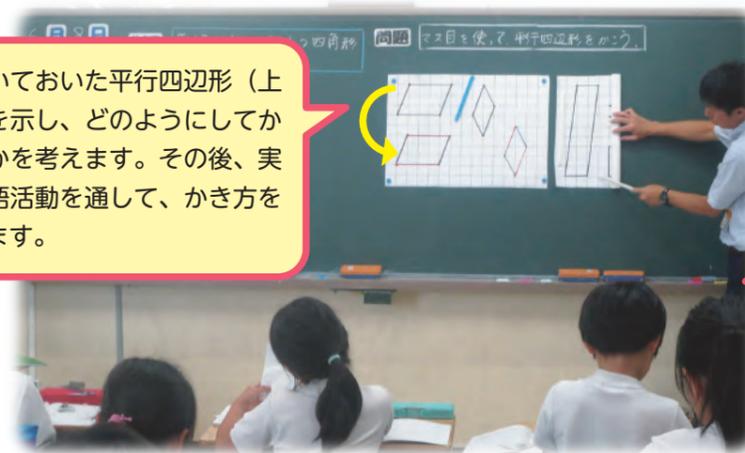
平行四辺形の定義を予め書いた用紙を用意しておき、板書する時間を省きます。



\\ こんなところがポイントです //

児童が考え、活動する時間を十分に確保します。

予めかいておいた平行四辺形(上の図)を示し、どのようにしてかいたのかを考えます。その後、実際に言語活動を通して、かき方を共有します。



さまざまな平行四辺形をかく活動に主体的に取り組めるように、教員側もいくつか平行四辺形をかいておきます。教員が提示する平行四辺形と児童がかいた平行四辺形とを関連付けながら、平行四辺形には、様々な形があることを理解させます。

週ごとの指導計画を活用したカリキュラム・マネジメント

一単位時間40分間の授業時数は、 $\frac{8}{9}$ で計算しています。



一週間の指導計画を作成する

- ★ポイント★**
- 学校の行事・学年の予定を踏まえ、各曜日の授業(コマ)数を確認し、重複や連絡漏れを防ぎます。
 - 毎時間、教科名(硬筆・毛筆の実施は「書写」、保健の実施は「保健」と明記)、単元名(題材名)、ねらい(目標)、内容、教科書ページ、安全面の配慮事項等を記入します。(鉛筆等、消すことが可能な筆記用具は使用しない。)
 - いつもと違う場合は、用意するもの、場所等を記入します。
 - 習熟度別指導等の場合は、その形態、TTによる学習の場合は役割(T1・T2)について記入します。

その都度、実施状況を記録する

- ★ポイント★**
- 実施した内容や変更部分ができるようにその都度、記録していきます。
 - 生活指導等により予定していた授業を行わなかった場合は、欠時としてカウントします。
 - 時数表は、毎週、実施時数と年間における累計を確実に記入します。
 - 「保健」、「書写」については実施時数が分かるように内数として()内に記入します。

一週間の実施状況を振り返り、管理職に報告する

- ★ポイント★**
- 必要に応じて教務主任、学年・教科主任等にも報告し、共有します。



改善策を考え、次週に生かす

- ★ポイント★**
- 「Check」で明らかになった課題は、可能な限り次週で解決できるように改善策を考え、次週の計画に盛り込みます。



実施前

(例) B校の学級担任の場合

週間指導計画案(第2週) 4月11日～4月15日 第6学年1組

日	月(11日)	火(12日)	水(13日)	木(14日)	金(15日)
行事	全校朝会	読書	読書(読み聞かせ)	読書	集会
1 総合	指導方法工夫改善加配(少人数指導またはTTの指導)による授業を行っている教科の場合、少人数による学習の場合は、その形態、TTによる学習の場合は役割(T1・T2)について記入する。	1 内科検診 2/4 〇〇教諭 2/4	1 読文のむらから古墳のくにへ(2/7) 板付遺跡や出土品の写真、米づくりのしるし。P.10	1 対称(6/11)P.17 点対称な図形の性質を	1 対称(6/11)P.17 点対称な図形の性質を
2 算数	イモのたねいもを植える。 ジャガイモのたねいも、ホウセンカの種子	2 対称(5/11)P.15 点対称な図形の対応する点、対応する辺、対応する角の性質を調べる。	2 対称(5/11)P.15 点対称な図形の対応する点、対応する辺、対応する角の性質を調べる。	2 Lesson1 自己紹介 This is me! (3/8) 友達に自己紹介をしたり、好きな教科を聞いたり、答えたりすることができる。	2 Lesson1 自己紹介 This is me! (3/8) 友達に自己紹介をしたり、好きな教科を聞いたり、答えたりすることができる。
3 国語	カレーライス(2/5) P.14～27 物語の設定やあらすじをつかむ。	3 カレーライス(4/5) P.14～27 「父」の視点から教材文を読む。「お父さん」の心情を言動から想像する。	3 カレーライス(4/5) P.14～27 「父」の視点から教材文を読む。「お父さん」の心情を言動から想像する。	3 病気の起こり方(1/8) 病気が、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などがかり合って起こることを調べる。	3 病気の起こり方(1/8) 病気が、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などがかり合って起こることを調べる。
4 図工	〇〇主任教諭	4 対称(3/11)P.13 線対称な図形の性質を使ったかき方を理解する。ぐんぐんコース	4 対称(4/11)P.14 線対称な図形の定義用語の意味を理解する。ぐんぐんコース	4 カレーライス(5/5) P.14～27 「はく」と自分の経験を重ね合わせる。(共通点や相違点を	4 カレーライス(5/5) P.14～27 「はく」と自分の経験を重ね合わせる。(共通点や相違点を
5 図工	〇〇主任教諭	5 ネット型(1/7)[体育館] 先生になって	5 ネット型(1/7)[体育館] 先生になって	5 学習の見通しをもとう(1/1) 教科書を見て、5年生までに学習したこと、6年生で学習することを確かめる。	5 学習の見通しをもとう(1/1) 教科書を見て、5年生までに学習したこと、6年生で学習することを確かめる。
6 体育	短距離走(1/4) [校庭] スタンドスタートから走り始め、ゴールまで全力で走る。	6 カレーライス(3/5) P.14～27 場面ごとの「はく」の心情を読み取る。	6 カレーライス(3/5) P.14～27 場面ごとの「はく」の心情を読み取る。	6 単元名、題材、ねらい、内容、教科書ページ、安全面の配慮事項等を記入する。 ※鉛筆は使用しない。	6 単元名、題材、ねらい、内容、教科書ページ、安全面の配慮事項等を記入する。 ※鉛筆は使用しない。

「書写」、「保健」は内数として、()内に記入する。

教科	予定	実施	累計
国語(書写)	$5\frac{4}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$5\frac{2}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$7\frac{8}{9}$
社会	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$3\frac{5}{9}$
算数	$5\frac{1}{3}$	$5\frac{1}{3}$	$7\frac{5}{9}$
理科	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$8\frac{8}{9}$
音楽	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$2\frac{2}{3}$
図工	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$
家庭科	$1\frac{4}{9}$	$1\frac{4}{9}$	$2\frac{4}{9}$
体育(保健)	$2\frac{7}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$2\frac{7}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$3\frac{8}{9}$ ($\frac{8}{9}$)
道徳	$\frac{8}{9}$	$\frac{8}{9}$	$1\frac{7}{9}$
外国語	$1\frac{8}{9}$	$1\frac{8}{9}$	$2\frac{7}{9}$
総合	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$
学級活動	$\frac{8}{9}$	$\frac{8}{9}$	$\frac{8}{9}$
小計	$27\frac{5}{9}$	$26\frac{4}{9}$	$36\frac{7}{9}$
児童会活動	0	0	0
クラブ活動	0	0	0
学校行事	$\frac{4}{9}$	$\frac{4}{9}$	$1\frac{8}{9}$
総計	28	$26\frac{8}{9}$	$38\frac{2}{3}$

実施後

国語科

$$\frac{8}{9} \times 5 + 1 \times 1 - \frac{8}{9} \times \frac{1}{4} = 5\frac{2}{9}$$

(40分間の授業を5回) (45分間の授業を1回) 欠時 13日(水)3校時

週間指導計画案(第2週) 4月11日～4月15日 第6学年1組

日	月(11日)	火(12日)	水(13日)	木(14日)	金(15日)
行事	全校朝会	読書	読書(読み聞かせ)	読書	集会
1 総合	授業時間を生活指導等で使用した場合は、欠時としてカウントする。(赤字で追記)	1 地球と私たちの暮らし(2/2) 欠時1 生活指導 私たちの暮らしが地球にどのように影響するかについて考える。(4/4)	1 内科検診 2/4	1 読文のむらから古墳のくにへ(2/7) 板付遺跡や出土品の写真、米づくりの様子。P.10	1 対称(6/11)P.17 点対称な図形の性質を使ったかき方を理解する。ぐんぐんコース
2 算数	線対称な図形の性質を調べる。ぐんぐんコース	2 地球と私たちの暮らし(2/2)P.5 ホウセンカの種子やジャガイモのたねいもを植える。ジャガイモのたねいも、ホウセンカの種子	2 対称(5/11)P.15 点対称な図形の対応する点、対応する辺、対応する角の性質を調べる。ぐんぐんコース	2 対称(5/11)P.15 点対称な図形の対応する点、対応する辺、対応する角の性質を調べる。ぐんぐんコース	2 Lesson1 自己紹介 This is me! (3/8) 友達に自己紹介をしたり、好きな教科を聞いたり、答えたりすることができる。
3 国語	カレーライス(2/5) P.14～27 物語の設定やあらすじをつかむ。	3 カレーライス(4/5) P.14～27 「父」の視点から教材文を読む。「お父さん」の心情を言動から想像する。	3 カレーライス(4/5) P.14～27 欠時1/4 生活指導 「父」の視点から教材文を読む。「お父さん」の心情を言動から想像する。	3 病気の起こり方(1/8) 病気が、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などがかり合って起こることを調べる。	3 病気の起こり方(1/8) 病気が、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などがかり合って起こることを調べる。
4 図工	〇〇主任教諭	4 対称(3/11)P.13 線対称な図形の性質を使ったかき方を理解する。ぐんぐんコース	4 対称(4/11)P.14 線対称な図形の定義用語の意味を理解する。ぐんぐんコース	4 カレーライス(5/5) P.14～27 (水3の続きから) 「はく」と自分の経験を重ね合わせる。(共通点や相違点を簡潔書きで書く。)	4 カレーライス(5/5) P.14～27 (水3の続きから) 「はく」と自分の経験を重ね合わせる。(共通点や相違点を簡潔書きで書く。)
5 図工	〇〇主任教諭	5 ネット型(1/7)[体育館] ボールを片手や両手で操作し、連携プレーが成り立つようにすばやく場所を移動してゲームができる。	5 ネット型(1/7)[体育館] ボールを片手や両手で操作し、連携プレーが成り立つようにすばやく場所を移動してゲームができる。	5 6年生になって最高学年としての自覚と責任をもち、よりよい学校や学級にしていこうとする意欲を高める。	5 学習の見通しをもとう(1/1) 教科書を見て、5年生までに学習したこと、6年生で学習することを確かめる。
6 体育	短距離走(1/4) [校庭] スタンドスタートから走り始め、ゴールまで全力で走る。	6 カレーライス(3/5) P.14～27 場面ごとの「はく」の心情を読み取る。	6 カレーライス(3/5) P.14～27 場面ごとの「はく」の心情を読み取る。	6 単元名、題材、ねらい、内容、教科書ページ、安全面の配慮事項等を記入する。 ※鉛筆は使用しない。	6 単元名、題材、ねらい、内容、教科書ページ、安全面の配慮事項等を記入する。 ※鉛筆は使用しない。

- 備考欄の記入事項(内容例)
- 授業後の所見を書く。(PDCA)
 - 児童の状況を書く。(個人情報取扱いに十分留意する)
- ※児童の名前をイニシャルで表記するかは校長の判断による。

※パソコンを活用して自動集計で計算しています。

- 実施後は、毎週、実施時数と年間における累計を確実に記入する。
- 累計時数は、教育課程届上の提出時数を年度末に上回る数でなければなりません。

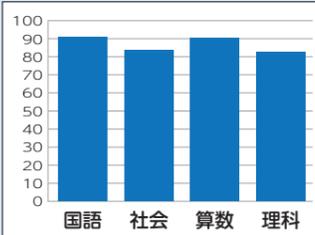
教科	予定	実施	累計
国語(書写)	$5\frac{4}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$5\frac{2}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$7\frac{8}{9}$
社会	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$3\frac{5}{9}$
算数	$5\frac{1}{3}$	$5\frac{1}{3}$	$7\frac{5}{9}$
理科	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$8\frac{8}{9}$
音楽	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$2\frac{2}{3}$
図工	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$
家庭科	$1\frac{4}{9}$	$1\frac{4}{9}$	$2\frac{4}{9}$
体育(保健)	$2\frac{7}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$2\frac{7}{9}$ ($\frac{8}{9}$)	$3\frac{8}{9}$ ($\frac{8}{9}$)
道徳	$\frac{8}{9}$	$\frac{8}{9}$	$1\frac{7}{9}$
外国語	$1\frac{8}{9}$	$1\frac{8}{9}$	$2\frac{7}{9}$
総合	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$	$1\frac{7}{9}$
学級活動	$\frac{8}{9}$	$\frac{8}{9}$	$\frac{8}{9}$
小計	$27\frac{5}{9}$	$26\frac{4}{9}$	$36\frac{7}{9}$
児童会活動	0	0	0
クラブ活動	0	0	0
学校行事	$\frac{4}{9}$	$\frac{4}{9}$	$1\frac{8}{9}$
総計	28	$26\frac{8}{9}$	$38\frac{2}{3}$

学力の定着・向上

例 駒場小学校

午前5時間制実施歴
10年目
(平成21年から実施)

達成率(%)



午前5時間制導入から10年間、高い達成率を保っています。

平成30年度 第5学年1組 週時程(前期)

	月	火	水	木	金
8:35 1 9:15	学級活動	理科	総合的な学習の時間	家庭	総合的な学習の時間
9:20 2 10:00	図工 (駒場タイム)	音楽	体育	家庭/社会	体育
10:05 3 10:45	図工	算数	道徳	音楽/社会	国語
11:05 4 11:45	外国語	社会	算数	算数	理科
11:50 5 12:30	社会	国語	国語	国語	理科
13:50	BT国語	BT国語		BT国語	BT国語
14:10					
14:10 6 14:55	算数	体育	校内研 クラブ 委員会 教育会	外国語	算数
15:10	部会 委員会等	少人数打合せ (国・算)			少人数打合せ (国・算)
15:40					
16:25				生活指導夕会	夕会
16:40					

こんなところがポイントです //

チーム学校

少人数指導担当教員と学級担任が児童の学習状況の共通理解を図りながら授業内容や指導方法等の打ち合わせを行っています。

学習規律の確立

授業力の向上

人材育成

効果



午前5時間制を成功させる秘訣は、少人数指導です。学習集団を意識した授業づくりの推進に繋がっています。

学力の定着・向上の鍵

国語科・算数科の2教科で実施
少人数指導の充実

短時間学習と放課後学習タイムの活用
個別指導の充実

中目黒学習スタンダード・長時間学習の活用
言語活動の充実

主体的・対話的で深い学びの実現
授業改善の充実

例 中目黒小学校

午前5時間制実施歴
17年目
(平成14年から実施)

中目黒学習スタンダード

○一単位時間40分間の時間配分の目安
[8分間・27分間・5分間]

- 導入** 課題を板書し、赤枠で囲む。
- 展開** ペアやグループ学習などによる言語活動を取り入れる。
- 終末** まとめを書く活動を確保する。

20分間・40分間・60分間の授業デザインについて研究しています。(平成30・31年度 目黒区教育委員会教育開発指定校)

長時間学習活用の成果

例 理科 第5学年 物のとけ方

- 考察を書く時間の確保
- 班や全体で自分たちの考えを共有する時間の確保
- 児童の疑問、日常生活との関連等を考える時間を十分に確保

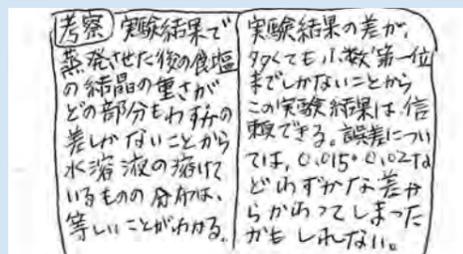
実験から結果の交流、考察、結論までの問題解決の過程を長時間学習を活用して行うことで、児童の思考の流れがとぎれず、意欲を持続できました。

「日常生活に生かす」「日常生活に関連付ける」といった理科の有用性を児童に感じさせることができました。



実験の様子

児童の考察



こんなところがポイントです //

原町小学校

短時間学習

毎日、短時間学習を25分間実施しています。

前半 基礎的・基本的な知識・技能の定着をねらった内容

後半 多面的にもものを見る力や論理的に考える力の育成をねらった内容

短時間学習の効果



向原小学校の児童に聞いてみました

限られた時間の中で効率よく勉強ができます。自分のペースでがんばれます。課題が終わらなかったら家で自主的に勉強する習慣が身に付いてきています。

月光原小学校の児童に聞いてみました

「学習タイム」の20分間という学習時間は、漢字の学習するのに適していると思います。小テストを行うこともあり、漢字を書く力が身に付きます。

例 向原小学校

午前5時間制実施歴
5年目
(平成26年から実施)

例 月光原小学校

午前5時間制実施歴
9年目
(平成22年から実施)

例 原町小学校

午前5時間制実施歴
3年目
(平成28年から実施)

午前5時間制導入前後の比較 原町小学校の成果

区学力調査結果

- 達成率(複数学年における平均)
- 国語科(第2学年から第6学年) 最大 3.23ポイント上昇
 - 算数科(第2学年から第6学年) 最大 11.56ポイント上昇
 - 理科(第4学年から第6学年) 最大 10.15ポイント上昇

例 烏森小学校

午前5時間制実施歴
6年目
(平成25年から実施)

こんなところがポイントです //

40分間授業の教科スタンダード

分かる授業・楽しい授業づくり

こんなところがポイントです //

単元や題材などを分析し、内容や時間をマネジメントする

主体的に取り組めるよう自身の学びや変容を自覚できる場面の設定

対話によって自分の考えなどを広げたり、深めたりする場面の設定

学びの深まりをつくりだすための児童が考える場面と教師が教える場面の組み立て

ねらいの明確化

指導形態の工夫

体験的な学習の充実

問題解決的な学習等の指導過程の工夫

学び合いの集団づくりの工夫

例 中根小学校

午前5時間制実施歴
1年目
(平成30年から実施)

平成29・30年度 目黒区教育委員会教育開発指定校
研究発表会:平成30年12月14日(金)

生活習慣の確立

午前5時間制は生活習慣を確立させることができます。

午前5時間制の1日

朝会・朝読書	8:10 ~ 8:15
朝の会	8:15 ~ 8:25
朝の会	8:25 ~ 8:35
1校時	8:35 ~ 9:15
休み	9:15 ~ 9:20
2校時	9:20 ~ 10:00
休み	10:00 ~ 10:05
3校時	10:05 ~ 10:45
中休み	10:45 ~ 11:05
4校時	11:05 ~ 11:45
休み	11:45 ~ 11:50
5校時	11:50 ~ 12:30
給食	12:30 ~ 13:15
掃除 昼休み	
学習タイム	
6校時	
帰りの会・下校	15:00 ~

登校時刻が少し早くなっている

睡眠時間を確保するためには…

夜更かし

寝坊

遅刻

朝、早く家を出よう。

給食の時間が少し遅くなっている

おなかが空かないようするには…

集中力の低下

放課後、ゆとりの時間がたくさんある

午前4時間制より
約30分間
遊ぶことができます。

生活習慣の確立

早寝



早起き



朝ごはん



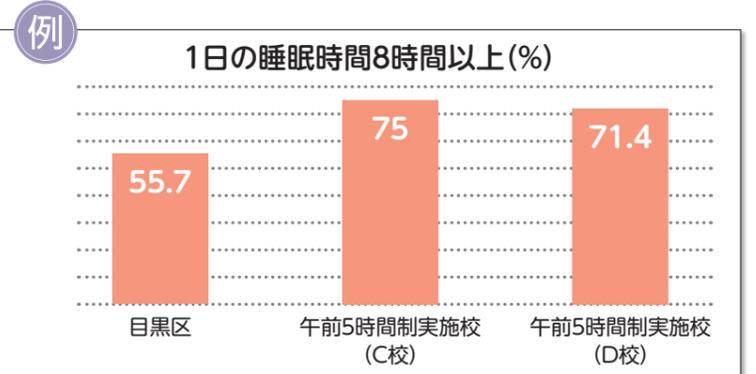
放課後遊び



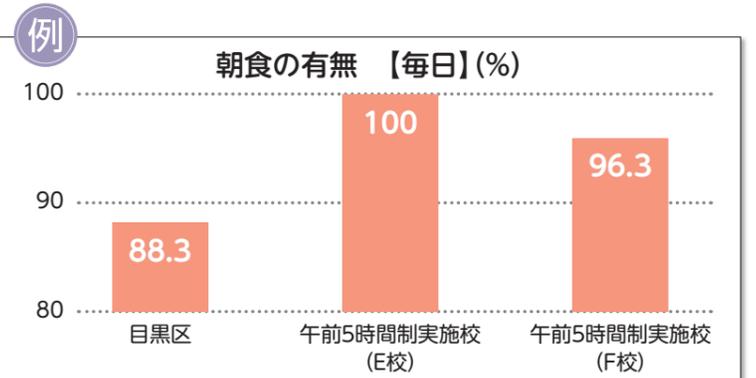
睡眠

食事

運動

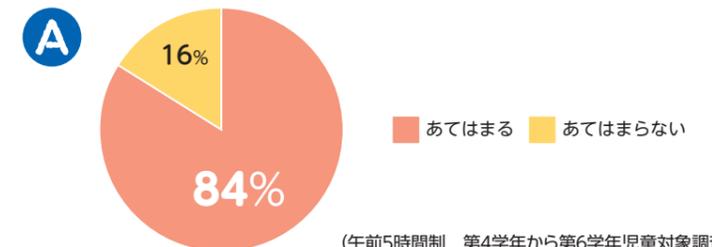


1日8時間以上睡眠時間を確保している児童の割合が高い学校の2校は午前5時間制実施校であり、目黒区の平均と比べ、15ポイント以上高くなっています。



朝食を毎日食べている児童の割合が高い学校の2校は午前5時間制実施校であり、目黒区の平均と比べ、8ポイント以上高くなっています。

Q 午後の学習が1時間で終わるので、下校時刻が少し早くなっています。その分、放課後の時間は、先生や友達と話したり、遊んだりすることができますか。



生み出した放課後のゆとり時間の活用

生み出した放課後のゆとり時間は30分間もあります。

○自由時間の拡大

午前5時間制は6校時終了時刻が午後3時頃です。午前4時間制の学校より30分間程度早く終わるため、放課後、習い事がある児童もランドセルひろばで遊んだり、放課後子ども教室事業に参加したりして帰ることができるかと好評です。

○個別指導の充実

児童は、授業で分からなかったところ、苦手な学習、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る必要がある箇所等、個に応じたプログラムで学習に取り組むことができます。

○先生とコミュニケーションを図る時間の確保

児童は一日の出来事、友達のことなど先生に話をする事ができます。児童にとって、先生に話を聞いてもらうことは、児童の心のケアにもつながっています。

児童

原町小学校

● 放課後学習タイム ●



原町小学校の児童に聞いてみました

1対1で教えてもらえるので、勉強が楽しくなりました。

児童のよさを認め、価値付ける

月光原小学校

● 先生とのコミュニケーション ●



放課後の時間は児童にとって先生と話をする事ができる大切な時間です。

駒場小学校

● ランドセルひろば ●



駒場小学校の様子

駒場小学校の児童に聞いてみました

放課後の時間がたくさんあるので、習い事がある日も遊ぶことができます。



向原小学校は、東京都プログラミング教育推進校です。プログラミング教育について、教材研究を進めています。



向原小学校の様子



烏森小学校の様子

教師

向原小学校

● 教材開発 ●

授業の導入、展開、まとめの工夫

各教科の中で、児童がプログラミング的思考を働かせ、学習できる単元を検討し合い、プログラミング教育に取り組んでいます。どのような教材があるのか教員同士でも話し合いを進めています。

烏森小学校

● 校内研究 ●

授業力向上

国語科、算数科、道徳科の3つの分科会に分かれて40分間授業の教科スタンダードについて考えながら、研究を進めています。

中根小学校

● 校内研究 ●

授業力向上



中根小学校の教員に聞いてみました

今までより、議論を深め、中身の濃い研究会ができるようになりました。



働き方改革の視点からも注目されています

○教材開発・校内研究・学年会

一単位時間40分間の授業において、児童が「どのように学ぶか」という学びの質を重視した「主体的・対話的で深い学びの実現」を図ることができるよう、教材開発や校内研究をチーム学校として確実にいき、教員一人ひとりが授業改善に努めています。

放課後のゆとり時間は、午前4時間制の学校より30分間多く、授業力向上に向けた取組を学校全体で実施することができます。



午前5時間制を導入するまでのプロセス 例

準備期間



教職員一人ひとりへの説明は、自己申告の面接時に校長から次年度の学校経営方針として午前5時間制の導入を伝えます。

主な準備事項

- 40分間の授業づくりの工夫
- 年間指導計画の作成
- 教職員の勤務時間の変更
- 短時間学習の年間指導計画の作成
- 通学路の時間帯の変更
- 短時間学習の学習ドリル等教材の準備

次年度の教育課程の編成

10月～

11月～

12月～

1月～

2月～

3月～

導入を決定するまでの準備事項

校長

- 1 喫緊の課題を分析し、その解決に向けて考える。

- ・学力調査の結果から思考力を育む授業を推進していく必要がある。授業改善の充実を図っていきたい。
- ・生活指導上の課題がある。
- ・第5・6学年の「外国語科」に伴い増える35単位時間をどのように生み出すか課題である。

- 2 課題を解決するための教育課程を考える。
- 3 自校の教育課程に午前5時間制の導入が有効であると考え、決断する。
- 4 校長として考えた教育課程を副校長・主幹教諭に学校経営方針として伝える。
- 5 午前5時間制実施校を訪問する。
 - ・授業観察 (一単位時間40分間、短時間学習、長時間学習、音楽科、図画工作科等)
 - ・児童の生活の様子 (教室移動、チャイム着席、休み時間の様子、給食指導の観察)

校長

めざす児童像を実現するために、学校経営に午前5時間制の教育課程を導入することを決断

副校長

- 特色ある教育を生かした午前5時間制の教育課程を考える。

上旬

校長

- 企画会等で次年度の午前5時間制を導入した学校経営方針を述べる。
- 人事構想を含め、組織改革を進める。

校長

- 職員会議で次年度の学校経営には、午前5時間制の導入が必要であることを述べる。
- 次年度の学校経営方針を示す。
- 校務分等・各種委員会の整理・合理化を図る。

校長

- P T A 運営委員会で午前5時間制の導入を報告する。

校長

- 全体保護者会で午前5時間制の導入を説明する。

校長

- 新年度の教育課程について新一年生保護者会で説明する。

校長

- 新年度の教育課程について全体保護者会で説明する。

校長

- 学校評議委員会に午前5時間制の導入の承認を得る。

校長

- 地域の会、新年会等で午前5時間制の導入を周知する。

P T A 代表者や地域の方々に次年度の学校経営方針として午前5時間制の導入を伝えます。



副校長

主幹教諭

導入

午前5時間制の実施

※記載のプロセスの時期については、あくまでも目安であり、学校や地域の実施に応じて、柔軟に時期を早めたり、順番を入れ替えたりするとよい。



目黒区立中目黒小学校の午前5時間制

短時間学習を2コマ設定し、柔軟な授業デザインが可能

平成29年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金
朝会	8:10~8:15	5				
朝読書	8:15~8:25	10	児童朝会	読書 (各教室ごとの 読み聞かせ等)	読書 (各教室ごとの 読み聞かせ等)	読書 (各教室ごとの 読み聞かせ等)
朝の会	8:25~8:35	10				集会・朝会
1校時	8:35~9:15	40	1	2	3	4
休み	9:15~9:20	5				
2校時	9:20~10:00	40	6	7	8	9
休み	10:00~10:05	5				
3校時	10:05~10:45	40	11	12	13	14
中休み	10:45~11:05	20				
4校時	11:05~11:45	40	16	17	18	19
休み	11:45~11:50	5				
5校時	11:50~12:30	40	21	22	23	24
給食	12:30~13:15	45	給食指導			
掃除	13:15~13:30	15	清掃指導	かんたん掃除 学習タイム算数	清掃指導	
昼休み	13:30~13:50	20	昼休み	学級指導	昼休み	
学習タイム	13:50~14:00	10	算数	国語	13:45~ 委員会 代表委員会 縦割班長会 14:30~ クラブ(60分)	国語
6校時	14:00~15:00	40	4・5・6年 6校時あり 26	全学年 (たけのご時間) 27	1年9月より、 2~6年 6校時あり 28	3~6年 6校時あり 29
		20	中目黒タイム	中目黒タイム	中目黒タイム	中目黒タイム
帰りの会	15:00~15:15	15	学級指導			

※たけのご時間は各教科の学習活動にあてる。教科は年間の授業時数に合わせて学級担任が弾力的に運用する。
 ※中目黒タイムは各教科の学習活動などにあてる。
 月曜日・4,5,6年 20分間 火曜日・全学年 20分間 木曜日・全学年 20分間 金曜日・3,4,5,6年 20分間
 ※月：児童朝会 火・水・木：読み聞かせ、健康指導、安全指導、中目黒っ子(生活の振りかえり)
 金：体育朝会・音楽朝会・児童集会・学級共遊び

工夫

1 学習タイムの時間を変更

- ・時間を10分から20分間に変更しました。
- ・「学習タイム」を「中目黒タイム①」と称し、長時間学習としての活用を拡大しました。
- 例1 中目黒タイム①+6校時
- 例2 6校時+中目黒タイム②
- 例3 中目黒タイム①+6校時+中目黒タイム②

2 第5・6学年 外国語科の充実

- ・適当たり2コマの学習を実施しています。
- ・半日、英語を使って生活をするEnglish Dayを2回実施します。
- ・第6学年は英語劇学習発表会を実施します。

3 保護者や地域の活動の充実

- ・クラブ活動等に保護者や地域のボランティアの協力を得ています。

40分間授業では、ねらいを達成するために、導入からまとめまでの流れを意識して授業をしています。
 (中目黒小学校 教員)

平成30年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金
朝会	8:10~8:15	5				
朝読書	8:15~8:25	10	児童朝会	算数・読書	算数・読書	読書 (各教室ごとの 読み聞かせ等)
朝の会	8:25~8:35	10				集会・朝会
1校時	8:35~9:15	40	1	2	3	4
休み	9:15~9:20	5				
2校時	9:20~10:00	40	6	7	8	9
休み	10:00~10:05	5				
3校時	10:05~10:45	40	11	12	13	14
中休み	10:45~11:05	20	学級指導			
4校時	11:05~11:45	40	16	17	18	19
休み	11:45~11:50	5				
5校時	11:50~12:30	40	21	22	23	24
給食	12:30~13:15	45	給食指導			
掃除	13:15~13:30	15	清掃指導	かんたん掃除	清掃指導	
昼休み	13:30~13:50	20	昼休み	中目黒タイム 学級指導	昼休み	
中目黒タイム①	13:50~14:10	20	中目黒タイム①		委員会 クラブ	中目黒タイム①
6校時	14:10~14:50	40	4・5・6年 6校時あり 26	全学年 27	1年9月より、2~6年 6校時あり 28	3~6年 6校時あり 29
		20	中目黒タイム②	中目黒タイム②	会議 学年会	中目黒タイム②
帰りの会	15:15~15:25	10	学級指導			

※中目黒タイムは各教科の学習活動などにあてる。
 午後12:20分間、60分間、40分間×2などの時間を弾力的に活用
 ※13:50以降はノーチャイム

中目黒小学校での午前5時間制の取組

短時間学習の工夫

基礎的・基本的な内容の指導

午後1時50分から午後2時10分までの20分間を「中目黒タイム」(短時間学習)と位置付けています。「中目黒タイム」は授業時数としてカウントし、年間指導計画に基づき指導しています。

教材は、教科書やドリルの他に本校独自教材「算数ユニット」や「東京ベーシックドリル」と目黒区独自教材「ことばの学習」「漢字の学習」を活用しています。

本校独自教材「算数ユニット」は児童の学習進度に応じて、課題に取り組み、教員は個別指導を中心にを行っています。

長時間学習の工夫

話し合いや作業的学習

6校時と20分間の中目黒タイムを続けて、長時間学習を実施しています。ねらいに応じて、60分間の授業を実施することが可能です。



理科の授業の様子

放課後活用の工夫

教員間の連携・協働

毎日、下校後の時間を学年の教員間や専科、特別支援教室の教員と情報共有する時間として活用しています。



児童が主体的に取り組む問題解決の授業を目指した教材研究(理科)

40分間授業のスタンダード

音楽の授業の様子

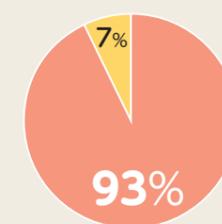
- ・「導入8分間・展開27分間・終末5分間」を目安として指導を行うことをスタンダードとしています。
- ・学習課題を赤枠で囲む、学習のまとめに書く活動を取り入れることをどの学級も行っています。



Q 授業の始めに遅れないように気を付けて行動していますか。

- A ■ あてはまる
- あてはまらない

児童は授業開始時刻を意識して行動することができるため、授業時間の確保につながっています。



児童対象調査より H29 中目黒小学校(第4学年から第6学年)



目黒区立烏森小学校の午前5時間制

学習タイムで教育活動のバリエーションを広げる

※校庭開門は7:50となります

平成29年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金
登校時刻	8:10~8:15	5				
朝の会	8:20~8:35	全校朝会 学級指導	読書タイム 学級指導	読書タイム 学級指導	集会 にここタイム 健康指導 学級指導	読書タイム 安全指導 学級指導
1校時	8:35~9:15	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5				
2校時	9:20~10:00	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5				
3校時	10:05~10:45	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20				
予鈴	11:00					
4校時	11:05~11:45	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5				
5校時	11:50~12:30	21	22	23	24	25
給食・ 歯磨き	12:30~13:15	給食指導・歯磨き				
昼休み	13:15~13:30	昼休み		学級指導	昼休み	
清掃	13:30~13:45	清掃指導		クラブ活動 委員会活動	清掃指導	
予鈴	13:45					
学習タイム	13:50~14:10	26 算数	27 国語	~14:15 (※)	26 算数	27 国語
6校時	14:10~14:55	28	29	14:30 下校	30	31
帰りの会	14:55~15:05	学級指導		学級指導		

※水曜日の午後は、月1回は委員活動とし、それ以外はクラブ活動を行う。
(部門研究会の時は委員会・クラブはなし)

学習タイムでは、計算や漢字の学習を通し、児童のつまずきを発見し、課題に応じて学習にじっくりと取り組むことができますよう工夫をしています。
(烏森小学校 教員)

工夫

1 学習タイムの時間を変更

- ・時間を20分から25分に変更しました。
- 25分間の内容の工夫例
 - 前半の10分間
基礎的・基本的な学力の定着を図っています。
 - 後半の15分間
テーマ別の学習を行っています。

- ・6校時と続けて行うことができます。
- 学習タイム 25分間
6校時 45分間
*計70分間の長時間学習として弾力的な活用ができます。

2 第5・6学年 外国語科の充実

- ・適当たり2コマの学習を実施しています。

40分間で学習効果を高めるための授業展開や指導内容・方法などについての研究も進めています。



※校庭の開放は7:50となります

平成30年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金
登校時刻	8:10~8:15	5				
朝の会	8:20~8:35	全校朝会 学級指導	読書タイム 学級指導	読書タイム 学級指導	集会 にここタイム 学級指導	読書タイム 学級指導
1校時	8:35~9:15	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5				
2校時	9:20~10:00	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5				
3校時	10:05~10:45	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20				
予鈴	11:00					
4校時	11:05~11:45	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5				
5校時	11:50~12:30	21	22	23	24	25
給食・ 歯磨き	12:30~13:15	給食指導・歯磨き				
昼休み	13:15~13:30	昼休み		学級指導	昼休み	
清掃	13:30~13:45	清掃指導		クラブ活動 委員会活動	清掃指導	
予鈴	13:45					
学習タイム	13:50~14:15	26 算数	27 国語	~14:15 (※)	26 算数	27 国語
6校時	14:15~15:00	28	29	14:30 下校	30	31
帰りの会	15:00~15:10	学級指導		学級指導		

※水曜日の午後は、月1回は委員会活動、それ以外はクラブ活動を基本として行う。
部門研究会(研究授業)のときは委員会・クラブ活動なし

烏森小学校での午前5時間制の取組

短時間学習の工夫

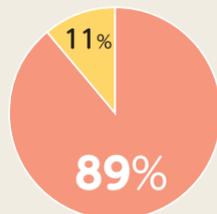
「学習タイム」の活用

25分間を短時間学習の時間として位置付け、国語科では、漢字の習得や音読、語句やことわざなどのテーマ別の学習、算数科では、計算や図形などの練習問題を繰り返し行っています。国語科と算数科の40分間授業と関連付けながら、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を意図的・計画的に進めます。

Q お昼の「学習タイム」の時間や6時間目の学習の時間も疲れずに集中して学習に取り組んでいますか。

A ■ あてはまる ■ あてはまらない

約9割の児童が午後の学習も集中して取り組んでいます。



児童対象調査より H29 烏森小学校 (第4学年から第6学年)

長時間学習の工夫

長時間学習の活用

25分間の学習タイム(短時間学習)と6校時を続けることで、最大70分間の授業枠が設定でき、長時間学習を活用して効果的な学習(出前授業、体験的学習等)が展開できます。

(☞ 特色①)



話し合いをしている様子

放課後活用の工夫

時程全体を通したゆとりの創出

天然芝の校庭での朝遊び(7:50~8:10)から1日が始まり、1校時の学習に入ることで集中を高められます。放課後はランドセルひろばで友達と楽しく遊ぶなど、様々な活動をする時間にできます。

(☞ 特色②)

終業時刻が早いので、個別の補習や相談など児童と関わる時間があります。また、学年会や教材研究、明日の授業準備などの時間を確保できます。

(☞ 特色③)



放課後の児童の様子



目黒区立向原小学校の午前5時間制

長時間学習がプログラミング教育にどう関われるのか探る

平成29年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金
登校時刻	8:10	登校				
	8:15~8:20	朝の支度・移動				
朝会・集会	8:20~8:30	児童朝会	読書	読み聞かせ	児童集会	読書
朝の会	8:30~8:35	学級指導				
1校時	8:35~9:15	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20					
2校時	9:20~10:00	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05					
3校時	10:05~10:45	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	中休み				
4校時	11:05~11:45	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50					
5校時	11:50~12:30	21	22	23	24	25
給食	12:30~13:10	給食				
歯磨き	13:10~13:15	はみがきタイム				
昼休み	13:15~13:35	昼休み		学級指導 13:15~13:30	昼休み	
清掃	13:35~13:55	清掃		委員会 (13:30~14:15) クラブ (13:30~14:30)	清掃	
学習タイム	13:55~14:15	国語	算数		国語	算数
休み	14:15~14:20					
6校時	14:20~15:05	29	27		26 向原タイム	28
帰りの会	15:05~15:20	学級指導		児童下校 (14:30) (14:45)	学級指導	

※1年生1~26 2年生1~27 3年生1~28 4・5・6年生1~29
 ※学習タイムは月・火・木・金にすべての学年で行う。
 ※クラブ活動は4年生以上で60分間行い、委員会活動は5年生以上で45分間行う。
 代表委員会は3年生以上で委員会の時間で行う。

平成30年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金
登校時刻	8:10	登校				
	8:15~8:20	朝の支度・移動				
朝会・集会	8:20~8:30	児童朝会	読書	読み聞かせ	児童集会	読書
朝の会	8:30~8:35	学級指導				
1校時	8:35~9:15	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20					
2校時	9:20~10:00	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05					
3校時	10:05~10:45	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	中休み				
4校時	11:05~11:45	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50					
5校時	11:50~12:30	21	22	23	24	25
給食	12:30~13:10	給食				
歯磨き	13:10~13:15	はみがきタイム				
昼休み	13:15~13:35	昼休み		学級指導 13:15~13:30	昼休み	
清掃	13:35~13:55	清掃				清掃
学習タイム	13:55~14:20	30 算数	26		27	30 国語
休み	14:20~14:25					
6校時	14:25~15:10	向原タイム 31 クラブ活動 委員会活動 14:35~15:35	28		32 向原タイム	29
帰りの会	15:10~15:25	学級指導			学級指導	

工夫

1 学習タイムの時間を変更

・時間を20分から25分間に拡大しました。清掃活動の時間を学習時間に変更しました。

2 6・7校時の時間の使い方を工夫

・45分間を20分間と25分間に分け、柔軟性をもたせています。
 【午後の学習時間のパターン例】
 1 20分間+25分間+45分間
 2 20分間+【25分間+45分間】
 3 【45分間+20分間】+25分間
 4 45分間+45分間
 ※【 】は長時間学習の例

3 第5・6学年 外国語科の充実

・過当たり2コマの学習を実施しています。
 ・外国語科は教科担任制を実施しています。

40分間授業のはじめと終わりをしっかりと意識して行うことで、成果を上げることができます。
 午後の20分間・25分間の時間の生かし方は今後の研究課題です。
 (向原小学校 教員)

向原小学校での午前5時間制の取組

短時間学習の工夫

40分間の授業と短時間学習

授業では、主に思考力・判断力・表現力を伸ばす指導を行っています。午後の短時間学習では、目黒区独自教材「ことばの学習」「漢字の学習」、「東京ベーシックドリル」等を用いて、繰り返しの学習を取り入れるなどしながら、知識・理解、技能の定着を図る指導を行っています。

長時間学習の工夫

長時間学習の設定

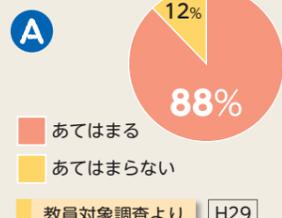
午後の学習は45分間で行っています。実験、観察、実習、学習のまとめ等、学習内容や児童の実態に合わせて、学習タイム(短時間学習)の時間と6校時を続ける(20分間+45分間=65分間)など、長時間学習を試行しています。

放課後活用の工夫

放課後時間の活用例

午後3時過ぎからの時間を活用して、さらに知識・技能の習得を目的とした学習の機会を設定しています。希望をする児童を対象として主に算数科で実施しています。午後3時過ぎからの取組は第3学年以上となりますが、低学年の児童は6校時が設定されていない曜日で行います。

Q 放課後の時間は、先生や友達と話したり、遊んだりすることができていますか。



放課後学習の様子

約9割の児童が放課後のゆとり時間を活用することができています。

向原小学校(第4学年から第6学年)

教科担任制の導入(一部の教科にて実施)

一人ひとりの児童を多面的に見取り、より丁寧な指導を目指すために一部教科担任制を実施しています。一人の教員が専門または得意とする同一の教科で複数の学級を指導していく方法です。同一の指導計画で複数回指導ができるため、指導内容の修正が適宜行えるメリットがあります。



算数の授業の様子

小・小連携

同じ中学校区である原町小学校も午前5時間制を導入しています。





目黒区立月光原小学校の午前5時間制

学習タイムの弾力的な活用を目指す

平成29年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金	
登校時刻	8:10						
朝の時間	8:20~8:30	10	児童朝会	読書タイム	音楽朝会・体育朝会・児童集会	読書タイム	読書タイム
朝の会	8:30~8:35	5	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導
1校時	8:35~9:15	40	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5					
2校時	9:20~10:00	40	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5					
3校時	10:05~10:45	40	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20	中休み				
4校時	11:05~11:45	40	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5					
5校時	11:50~12:30	40	21	22	23	24	25
給食・歯磨き	12:30~13:15	45	給食指導・歯磨き				
清掃	13:15~13:30	15	清掃指導	学級指導		清掃指導	
昼休み	13:30~13:50	20	昼休み		プレイタイム	昼休み	
学習タイム	13:50~14:10	20	26 学習タイム	26 学習タイム	クラブ時 1~3年 下校13:30 委員会時 1~4年 下校13:30 クラブ、委員会 13:35~14:20 14:30下校	27 学習タイム	27 学習タイム
6校時	14:10~14:55	45	30 3~6年	28 1~6年	29 2~6年	31 4~6年	
帰りの会	14:55~15:05	10	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導	

工夫

1 学習タイムの設定日を変更

- ・水曜日に学習タイム(短時間学習)及び6校時(第3学年から第6学年)を設定しました。
- ・H29に水曜日に設定していたクラブ活動、委員会活動は月曜日の午後の時程を早め、7時間目に設定しました。

2 学習タイムの内容の弾力化

- ・学習タイムの内容は国語科及び算数科に限るとのしぼりを外し、他の教科・領域でもよいこととし、6校時との組み合わせによる長時間学習を設定しやすくしました。

3 第5・6学年 外国語科の充実

- ・適当たり2コマの学習を実施しています。



児童の集中力や緊張感を維持しやすいため、学習規律を大切にすることで、質の高い問題解決に向けた時間を確保することができます。
(月光原小学校 教員)

平成30年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金	
登校時刻	8:10						
朝の時間	8:20~8:30	10	児童朝会	読書タイム	音楽朝会・体育朝会・児童集会	読書タイム	読書タイム
朝の会	8:30~8:35	5	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導
1校時	8:35~9:15	40	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5					
2校時	9:20~10:00	40	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5					
3校時	10:05~10:45	40	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20	中休み				
4校時	11:05~11:45	40	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5					
5校時	11:50~12:30	40	21	22	23	24	25
給食・歯磨き	12:30~13:15	45	給食指導・歯磨き				
清掃	13:15~13:30	15	屋休み 13:15~13:35	清掃指導	26 学習タイム 13:15~13:35	清掃指導	清掃指導
昼休み	13:30~13:50	20	30 3~6年 13:35~14:20	屋休み	1・2年下校 13:45	プレイタイム	昼休み
学習タイム	13:50~14:10	20	26 学習タイム	26 学習タイム	31 3~6年 13:35~14:20 14:30下校	27 学習タイム	27 学習タイム
6校時	14:10~14:55	45	学級指導	28 1~6年	29 2~6年	32 4~6年	
帰りの会	14:55~15:05	10	クラブ、委員会 14:35~15:20	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導

月光原小学校での午前5時間制の取組

短時間学習の工夫

基礎・基本の力を育む学習タイム

昼休み後に週4回学習タイム(短時間学習)を設定しています。そのうちの2回を国語科、2回を算数科としています。国語科は、目黒区独自教材「ことばの学習」「漢字の学習」を活用するほか、新出漢字の学習を行うこともあります。算数科は、既習事項についてのドリル学習を中心にしています。こうして基礎・基本となる学力の定着を図っています。

長時間学習の工夫

長時間学習の活用

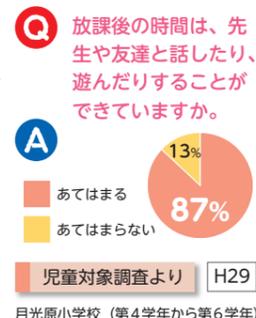
午後の6校時は45分間としています。学習タイムと続けて、65分間の長時間学習とすることも可能です。教員が学習内容や児童の実態に応じて長時間学習として活用しています。



放課後活用の工夫

生み出した放課後の時間の活用

終業時刻が早いことから、児童が放課後遊びをたくさんすることができます。また、教員が児童に対して個別指導を行うこともできます。教員の会議や打ち合わせの時間が設定しやすく、教材研究の時間の確保にもつながります。



時程のよさを生かす集団登校

児童が毎朝集団登校することによって、児童が8時10分に学校に着いているため、「朝の時間」の活動に余裕をもって臨むことができます。



登校班による集団登校の様子

児童の実態に応じた週時程の編成

学習内容に応じて長時間学習を活用し、児童の思考力・判断力・表現力等の育成を図っています。

毎週木曜日に学級全員で遊ぶ時間(プレイタイム)を設定しています。

月1回は異学年交流として縦割り班で遊ぶようにしています。(共遊び)



長時間学習を活用した理科学習の様子



プレイタイムの様子



目黒区立駒場小学校の午前5時間制

午前5時間制を活かした少人数指導の更なる充実

平成29年度 週時程表

※校庭開門は7:50、校舎の解錠は8:10となります。

	時間	月	火	水	木	金
登校時刻	8:10~8:15		職員朝会			
朝の時間	8:20~8:30	10 児童朝会	朝読書 (安全指導)	集会 学級共遊び	朝読書 (健康指導)	読み聞かせ
朝の会	8:30~8:35	5	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導
1校時	8:35~9:15	40 1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5				
2校時	9:20~10:00	40 6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5				
3校時	10:05~10:45	40 11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20	中休み			
4校時	11:05~11:45	40 16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5				
5校時	11:50~12:30	40 21	22	23	24	25
給食・ 歯磨き	12:30~13:15	45	給食指導・歯磨き指導			
清掃	13:15~13:30	15	清掃指導	学級指導	清掃指導	
昼休み	13:30~13:50	20	昼休み		昼休み	
昼帯	13:50~14:10	20	26 国語	26 国語	クラブ活動 委員会活動	国語 (余) 算数 (余)
6校時	14:10~14:55	45 27	28	14:15~ 14:30下校	29 駒場タイム	30
帰りの会	14:55~15:05	10	学級指導		学級指導	

※水曜日の6校時は、月1回、委員活動にあて、それ以外は、クラブ活動にあて。
※「駒場タイム」は学級担任裁量の時間とし、各教科・道徳・特別活動にあて、授業時数を調整する。

工夫

1 少人数指導の推進

- ・国語科・算数科の2教科で少人数指導を推進しています。
※算数科は習熟度別少人数指導
- ・放課後は教員がチームをつくり、教材研究をしています。

2 第5・6学年 外国語科の充実

- ・適当たり2コマの学習を実施し、英語推進教員が担当しています。

平成21年度から午前5時間制を導入しており、定着しています。昨年度までは余剰時数としていた木・金の短時間学習(昼帯)を、平成30年度からは授業時数に計上しました。
(駒場小学校 教員)

集中しやすい午前中に多くの教科を学習できるとともに、国語科と算数科での少人数指導が学力の定着につながっていると感じています。放課後の時間にゆとりがもてるのも魅力的です。
(駒場小学校 教員)

平成30年度 週時程表

※校庭開門は7:50、校舎の解錠は8:10となります。

	時間	月	火	水	木	金
登校時刻	8:10~8:15		職員朝会			
朝の時間	8:20~8:30	10 児童朝会	朝読書 (安全指導)	集会 学級共遊び	朝読書 (健康指導)	読み聞かせ
朝の会	8:30~8:35	5	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導
1校時	8:35~9:15	40 1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5				
2校時	9:20~10:00	40 6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5				
3校時	10:05~10:45	40 11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20	中休み			
4校時	11:05~11:45	40 16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5				
5校時	11:50~12:30	40 21	22	23	24	25
給食・ 歯磨き	12:30~13:15	45	給食指導・歯磨き指導			
清掃	13:15~13:30	15	清掃指導	学級指導	清掃指導	
昼休み	13:30~13:50	20	昼休み		昼休み	
昼帯	13:50~14:10	20	26 国語	26 国語	クラブ活動 委員会活動	27 国語 27 算数
6校時	14:10~14:55	45 28	29	14:15~ 14:30下校	30 駒場タイム	31
帰りの会	14:55~15:05	10	学級指導		学級指導	

※水曜日の6校時は、月1回、委員活動にあて、それ以外は、クラブ活動にあて。
※「駒場タイム」は学級担任裁量の時間とし、各教科・道徳・特別活動にあて、授業時数を調整する。

駒場小学校での午前5時間制の取組

短時間学習の工夫

短時間学習で基礎・基本の徹底

短時間学習を使ってドリル学習を計画的に行い、目黒区独自教材「ことばの学習」、「漢字の学習」、計算学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図ります。集中できる短時間学習で繰り返し取り組むことで確実な学力を身に付けていきます。

Q 昼帯等の20分間の学習は、基礎・基本の定着につながっていると思う。



H29 駒場小学校 (第4学年から第6学年)

長時間学習の工夫

柔軟に昼帯と続けて自律的な学習に

木曜日と金曜日の昼帯も通常、基礎・基本を身に付ける時間ですが、6校時と続けることで65分間の長時間学習にすることが出来ます。通常よりも20分間長いことで余裕をもって調べ学習に取り組めたり、地域での体験学習に出かけたりと、児童の自律的な姿勢を生かした学習に取り組んでいます。

放課後活用の工夫

ゆとりある放課後の時間を活用

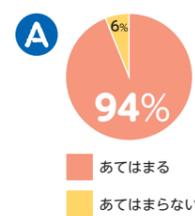
授業の終わりが午後3時頃となり、放課後の時間がたっぷりあって有効に活用できます。児童は「ランドセルひろば」で思いっきり体を動かしたり、子ども教室事業「駒ちゃん広場」で興味あるものに取り組んだり、教室に残って補習を受けたりと、毎日充実しています。



また、教員は放課後の時間を学年会や教材研究に活用しています。

放課後遊びをしている様子

Q 放課後は有効活用できている。



H29 駒場小学校

午前5時間×国・算少人数=学力Up

国語科と算数科という小学校教育の基幹をなす教科で習熟度別少人数指導を実施しています。毎日実施される両教科なので、児童は毎日2時間、習熟度別少人数指導を受けています。どの子どもも「わかる」、「できる」学習経験を十分に味わっています。

学習内容を、少人数指導担当を含めた学年の学級担任同士で常に話し合い、教材を研究します。この活動を通して指導すべき内容がそれぞれの指導者にしっかりと共有されていきます。



少人数学習の打ち合わせ



共有された板書計画

Q 40分間で導入からまとめまでの流れを意識して授業することができている。



H29 駒場小学校



目黒区立原町小学校の午前5時間制

基礎・基本の徹底と言語活動の充実で学力向上

平成29年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金	
登校時刻	8:10~8:15						
朝の時間	8:20~8:30	10	全校朝会	朝読書	読み聞かせ	朝読書	
朝の会	8:30~8:35	5	学級指導				
1校時	8:35~9:15	40	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5					
2校時	9:20~10:00	40	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5					
3校時	10:05~10:45	40	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20	20分休み				
4校時	11:05~11:45	40	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5					
5校時	11:50~12:30	40	21	22	23	24	25
給食	12:30~13:10	40	給食				
歯磨き	13:10~13:15	5	はみがきタイム				
昼休み	13:15~13:35	20	昼休み		学級指導	昼休み	
清掃	13:35~13:55	20	清掃		13:30~14:15 委員会 5・6年	清掃	
学習タイム	13:55~14:15	20	26 学習タイム	26 学習タイム	13:30~14:30 クラブ 4~6年	27 学習タイム	27 学習タイム
6校時	14:15~15:00	45	28 4~6年	29 2~6年	下校 14:35	30 1~6年	31 3~6年
帰りの会	15:00~15:10	10	学級指導	学級指導		学級指導	学級指導

※1年生1~28 2年生1~29 3年生1~29 4・5・6年生 1~31
※委員会活動：45分間 クラブ活動：60分間

平成30年度 週時程表

	時間	月	火	水	木	金	
登校時刻	8:10~8:15						
朝の時間	8:20~8:30	10	全校朝会	朝読書	読み聞かせ	朝読書	
朝の会	8:30~8:35	5	学級指導				
1校時	8:35~9:15	40	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5					
2校時	9:20~10:00	40	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5					
3校時	10:05~10:45	40	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20	20分休み				
4校時	11:05~11:45	40	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5					
5校時	11:50~12:30	40	21	22	23	24	25
給食	12:30~13:10	40	給食				
歯磨き	13:10~13:15	5	はみがきタイム				
昼休み	13:15~13:35	20	昼休み				
清掃	13:35~13:55	20	清掃			31	清掃
学習タイム	13:55~14:20	25	26 学習タイム	26 学習タイム	27 学習タイム	3~6年 13:35~14:20	27 学習タイム
6校時	14:20~15:05	45	28 4~6年	29 2~6年	30 3~6年	学級指導 14:35~15:20 委員会 5・6年	32 1~6年
帰りの会	15:05~15:15	10	学級指導	学級指導		14:35~15:35 クラブ	学級指導
						下校 15:40	

※1年生1~28 2年生1~29 3年生1~31 4~6年生 1~32
委員会活動：45分間 クラブ活動：60分間
木曜日にクラブ・委員会があるときは、6校時が13:35~14:20となる。それ以外は、学習タイム後に6校時を行う。

工夫

1 授業コマ数の増加

- ・水曜日に学習タイムと6校時を設定しました。
- ・委員会やクラブ活動は放課後に行います。

2 長時間学習の活用

- ・長時間学習の工夫を算数科だけでなく、国語科など他教科にも広げています。

3 第5・6学年 外国語科の充実

- ・適当たり2コマの学習を実施しています。

授業コマ数が多いため、学習の繰り返しや2時間続きの授業など、児童の実態に合わせて組み合わせが工夫できます。
(原町小学校 教員)



原町小学校での午前5時間制の取組

短時間学習の工夫

集中力を高める短時間学習

- ・学習タイムでは、本校の児童の実態に合わせて学習をしています。
- ・国語科では、学校独自の教材で考える力や読解力を高めています。また、校内漢字検定も実施しています。
- ・算数科では既習事項についてのドリル学習を中心に行っています。



学習に取り組んでいる様子



約9割の教員が短時間学習で基礎・基本の定着を図ることに重点を置いています。

教員対象調査より H29 原町小学校

長時間学習の工夫

算数科の授業での工夫

- ・算数科の授業は、40分間を2コマ続けて学習時間を設定しています。80分間で、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに発展的な学習に取り組むことで集中力を継続させることができます。
- ・最初の40分間は教科書例題、練習問題に取り組みます。次時の40分間は問題解決学習に取り組み、前時で学んだことを活用する学習を行います。

放課後活用の工夫

放課後の個別学習

- ・午後のゆとりを生かして毎日個別指導を行い、徹底した力の定着を図ります。
- ・一人ひとりに応じたプログラムで午後の学習時間を弾力的に使い、能動的な学習を推進することができます。



個別指導の様子

午前と午後のメリハリ学習

- ・集中力の高い午前中の時間を活用して、授業を5コマ行います。
- ・午後は、ゆっくり自分のペースで学ぶ時間を確保することができます。



プログラミング教育

小・小連携

同じ中学校区である、向原小学校も午前5時間制を導入しています。午前5時間制の週時程で学習した向原小学校と原町小学校の児童が同じ中学校に進学し、さらに資質・能力を育むことができるよう連携を図っています。





目黒区立中根小学校の午前5時間制

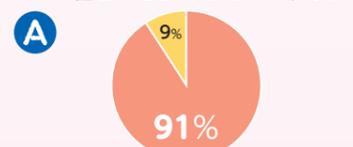
児童の思考を深めるカリキュラム・マネジメントの推進

平成29年度 週時程表

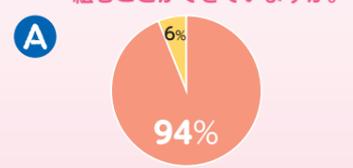
登校時刻	時間	月	火	水	木	金	
登校時刻	8:15						
朝の時間	8:30~8:40	10	児童朝会	レットライ タイム	学級指導	レットライ タイム	みんなの時間
朝の会	8:40~8:50	10	学級指導	学級指導		学級指導	学級指導
1校時	8:50~9:35	45	1	2	3	4	5
休み	9:35~9:40	5					
2校時	9:40~10:25	45	6	7	8	9	10
休み	10:25~10:45	20	中休み		中休み	中休み	
3校時	10:45~11:30	45	11	12	13	14	15
休み	11:30~11:35	5					
4校時	11:35~12:20	45	16	17	18	19	20
給食	12:20~13:05	45	給食指導		給食指導	給食指導	
清掃	13:05~13:20	15	清掃指導		23	清掃指導	
休み	13:20~13:35	15	昼休み		学級指導	昼休み	
5校時	13:35~14:20	45	21	22		24	25
6校時	14:20~15:10	45	26	14:40~15:30 クラブ活動 委員会活動		27	28
帰りの会	15:10~15:30	20	学級指導	学級指導		学級指導	学級指導

平成30年度から 午前5時間制を導入

Q 午前中の学習は集中して取り組むことができますか。



Q 40分間の学習に集中して取り組むことができますか。



あてはまる
 どちらかといえばあてはまる
 あてはまらない
 どちらかといえばあてはまらない
 児童対象調査より
 中根小学校（第4学年から第6学年）

集中力の高い午前中に5単位時間分の学習を行うことは効果的です。

40分間授業を効果的に組み立てて、深い学びの実現を目指します。
(中根小学校 教員)

平成30年度 週時程表

登校時刻	時間	月	火	水	木	金	
登校時刻	8:10						
朝の時間	8:20~8:30	10	児童朝会	読書タイム	読書タイム	読書タイム	読書タイム
朝の会	8:30~8:35	5	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導	学級指導
1校時	8:35~9:15	40	1	2	3	4	5
休み	9:15~9:20	5					
2校時	9:20~10:00	40	6	7	8	9	10
休み	10:00~10:05	5					
3校時	10:05~10:45	40	11	12	13	14	15
休み	10:45~11:05	20	中休み				
4校時	11:05~11:45	40	16	17	18	19	20
休み	11:45~11:50	5					
5校時	11:50~12:30	40	21	22	23	24	25
給食・歯磨き	12:30~13:15	45	給食指導・歯磨き				
清掃	13:15~13:30	15	清掃指導		学級指導	プレイタイム (なかよし班・ 集会・ ロング休み時間)	清掃指導
休み	13:30~13:50	20	昼休み		13:35~14:35 クラブ 委員会	昼休み	
学習タイム	13:50~14:10	20	26 学習タイム	26 学習タイム		27 学習タイム	27 学習タイム
6校時	14:10~14:55	45	28 3~6年	29 3~6年 (後期より2年も)	14:45 下校	30 2~6年	31 4~6年
帰りの会	14:55~15:05	10	学級指導	学級指導		学級指導	学級指導

中根小学校での午前5時間制の取組

短時間学習の工夫

学習タイムの有効活用

20分間の短時間学習で新出漢字等の指導をしています。国語科の授業で児童の思考の時間を確保しています。また、書写などの指導には、20分間+45分間で指導時間を十分に確保しています。



学習タイムの様子

放課後活用の工夫・・・教員は、生み出した放課後の時間を有効活用しています。

40分間授業の組み立ての工夫

どこで何をどう教えるか、40分間をどう使うかをこれまで以上にマネジメントする意識が教員に生まれました。児童が主体的に学べる授業の工夫をし、研修を重ねることが、教員の授業力向上につながっています。



校内研究の様子

教材研究



理科の事前実験の様子

時間を要する予備実験などもじっくりと取り組むことができます。教員が教材としっかり向き合うことは、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりにつながっています。

学年会の時間の確保



学年会の様子

専科・特別支援教室の教員を含めた情報交換の場の確実な設定により、複数の視点での児童理解が進みます。また、児童の実態を踏まえた学年間の交換授業にもつながっています。